

令和 7 年度 委 託 仕 様 書

委 託 名 自家発電設備保守点検業務委託（ポンプ場 1）

委 託 箇 所 清久中継ポンプ場（久喜市清久町地内）ほか

委 託 の 大 要

委託期間：契約日～令和 8 年 2 月 2 7 日

委託内容： 清久・東・鷺宮中継ポンプ場に設置されている非常用自家発電設備の
定期（1 年・6 年）点検整備及び試験運転調整等一式

対象機器： 1 清久中継ポンプ場非常用自家発電設備（ガスタービン発電機）

- （1）発電機 1 台
- （2）ガスタービン 1 台
- （3）配電盤関係 2 面

2 東中継ポンプ場非常用自家発電設備（ガスタービン発電機）

- （1）発電機 1 台
- （2）ガスタービン 1 台

※ パワーモジュールの交換整備を含む。

- （3）配電盤関係 3 面

3 鷺宮中継ポンプ場非常用自家発電設備（ガスタービン発電機）

- （1）発電機 1 台
- （2）ガスタービン 1 台
- （3）配電盤関係 2 面

本委託費内訳書

[illegible]

直接点検費

A - 1 代価表

種 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
点検業務費	式	1			B - 1
材料費	式	1			B - 2
複合工費	式	1			B - 3
直接経費	式	1			B - 4
計					

複合工費

B-3 代価表

[illegible]

C-1 代価表

[illegible]

特 記 仕 様 書

委 託 名	自家発電設備保守点検業務委託（ポンプ場1）
委 託 箇 所	清久中継ポンプ場(久喜市清久町地内)ほか
委 託 期 間	契約日～令和8年2月27日

公益財団法人埼玉県下水道公社

1 適用範囲	この仕様書は、本委託に適用し、公益財団法人埼玉県下水道公社業務委託標準仕様書を補足する必要な事項を定めるものとする。
2 概要	本委託は、各中継ポンプ場（清久、東、鷺宮）に設置されている非常用自家発電設備の保守点検、劣化消耗部品類の交換整備及び無負荷試運転調整を行うものとする。
3 対象機器	本委託の点検対象機器は、別紙1のとおりとする。
4 委託内容	本委託の内容は、次のとおりとする。 (1) 各中継ポンプ場非常用自家発電設備 ア 別紙2点検表に基づく（1年・6年点検）定期点検一式 イ 別紙3交換材料一覧表に基づく劣化部品類の交換整備一式 ウ 東中継ポンプ場におけるパワーモジュールの交換整備一式 エ 清久・鷺宮中継ポンプ場におけるボアスコープ点検一式 (2) 故障回路のシーケンス・保護連動・インターロック試験等一式 (3) 無負荷試運転調整等一式 (4) 仮設養生及び安全対策等作業一式 (5) 点検作業に伴い発生する産業廃棄物及び特別産業廃棄物（廃油）の法的適正処分一式
5 業務履行上の注意	受託者は、業務履行にあたって、次の事項に注意しなければならない。 (1) 委託点検は設備停止及び部分停電を必要とする作業であるため、必要に応じて作業要領書を作成し、事前に監督員及び電気主任技術者と打合せを行うと共に停止・停電時間の短縮に努めること。 (2) JIS、JEC等の関連法令及び保安規程を遵守する。 (3) 現場で作業工具等を使用する場合には、保護装置を介して施設に影響を与えないようにする。 (4) 委託点検に伴い発生した発生材等は、写真撮影を行い法的に適正処分する。 (5) 委託点検で移動用発電機（10kW以上）を使用する場合には、電力使用管理区域の変更と電気主任技術者の選任など経済産業省への届けが必要となるので、施行計画には十分注意する。 (6) 委託点検において、機器の不具合箇所等が発見された場合は、速やかに監督員と協議し対処する。
6 安全対策	受託者は、業務遂行中に事故等が発生しないように十分な安全対策を施すものとする。 (1) 発電設備を点検するため、特に感電事故に注意すること。 (2) 作業場所は危険な箇所もあるため、事故の無いように取扱方法を熟知し、安全には十分注意を払い、労働安全衛生法等の関連法令を遵守する。 (3) 必要に応じて機器の状態や停電の有無などを表示札で明記し、仮設物などで安全の確保を行う。

(4) 点検整備を実施するにあたり、その都度作業要領書(手順書)を作成し事前に監督員及び電気主任技術者との打合せを行い承諾を得る。

7 負担区分

委託業務の実施にあたり、以下に示すもの以外は、受託者の負担とする。
ただし、使用する際は取扱いに十分注意し監督員の指示に従うものとする。

(1) 用水

(2) 作業用電源(AC100Vを超えるものは除く。)

※ 停電時等は、必要に応じて受託者が仮設電源を準備し管理する。

(3) 既設照明設備の使用

(4) 遮断器用リフターの使用

(5) 図面類の貸与

(6) 試運転調整時に必要な燃料

(7) その他、監督員が認めたもの。

8 下水道施設 台帳システム (WBC)の登録 情報の整備

本委託で、点検・交換・補修等をした機器等の保全履歴について、公社が指定する様式に保全名称等の情報を整理し、電子データ(Excel形式)を提出する。

また、報告書の考察(劣化状況等)をPDF形式にて提出する。合わせて資産全景写真を撮影し、整理したデータ(CD)も提出する。

9 環境配慮へ の取組

環境負荷の低減や汚染事故の防止、環境管理体制の確立を図るとともに、地域住民への信頼性の向上を図ることを目的とし、公益財団法人埼玉県下水道公社が行う環境に配慮した活動に積極的に参加する。

10 その他

この仕様書の定めがない事項については、受託者と委託者で協議し適正に対処するものとする。

点検対象機器 内訳書

別紙1-1

1	清久中継ポンプ場	非常用発電設備	1基
	(1) 発電機		1台
	型式	T300B-ER	
	定格容量	300kVA	
	回転数	1,500min-1	
	電圧	420V	
	周波数	50Hz	
	極数	4P	
	(2) ガスタービン		1台
	型式	S1A-06	
	形式	単純開放サイクル1軸式	
	構造	遠心2段圧縮機 軸流3段出力タービン	
	出力	272kW	
	(3) 配電盤関係		
		自動始動発電機盤	1面
		直流電源盤	1面
2	東中継ポンプ場	非常用発電設備	1基
	(1) 発電機		1台
	型式	EFOP-RD	
	定格容量	375kVA	
	回転数	1,500min-1	
	電圧	420V	
	周波数	50Hz	
	極数	4P	
	(2) ガスタービン		1台
	型式	AT600S	
	形式	単純開放サイクル1軸式	
	構造	遠心1段圧縮機 軸流2段出力タービン	
	出力	449kW	
	(3) 配電盤関係		
		自動始動盤	1面
		発電機盤	1面
		直流電源盤	1面

点検対象機器 内訳書

別紙1-2

3	鷺宮中継ポンプ場 非常用発電設備	1基
(1)	発電機	1台
	型式	SBON-A
	定格容量	300kVA
	回転数	1,500min ⁻¹
	電圧	420V
	周波数	50Hz
	極数	4P
(2)	ガスタービン	1台
	型式	S1A-06
	形式	単純開放サイクル1軸式
	構造	遠心2段圧縮機 軸流3段出力タービン
	出力	272kW
(3)	配電盤関係	
	自動始動発電機盤	1面
	直流電源盤	1面

清久中継ポンプ場（6年）定期点検整備表（1 / 3）

別紙2-1-1

□:目視、触手点検 △:作動点検 ○:開放点検 ◎:交換、更新

区分	番号	点検箇所	点検内容	点検項目	備考
設備状況全般	1	発電装置	発電機の損傷の有無確認、装置内への雨水浸入油類のもれ、ボルト類の脱落等の確認、発錆の有無確認	□ □ □	発電機及び 原動機
	2	始動操作盤	状態表示ランプ、異常点灯の有無確認、盤内外の焼損、盤面の球切れ等の有無の確認	□ □	
	3	直流電源盤	出力電圧の確認、バッテリーの異常有無の確認 充電電源が入っていること	□ □	
	4	排気ダクト/消音器	焼損、ガス漏れによる汚損等の有無の確認、ドレンの確認（サイリヤ底部）	□ □	
	5	給気ダクト	ビニール類の付着、変形等の有無の確認	□	
	6	燃料小出し槽	外観上の汚損、残油量の確認	□	
	7	周囲の状況	保有距離、保有空地が保たれていること	□	
運転状況全般	1	始動・停止	自動始動の確認、振動、異常音、臭気等の有無	△	
	2	運転諸元	保守点検記録確認、振動、異常音、臭気等の有無の確認	□	
	3	オイルクーラファン 給・換気ファン 給・換気ファン	連動補機が自動始動することの確認 作動の確認、振動異常音の有無の確認 作動の確認、振動異常音の有無の確認	△ △ △	
	4	操作位置	全て所定の位置にあることの確認	□	
ガスタービン	1	燃烧器ライナ、燃烧筒取付ボルト	汚損や割れ等、変形や伸びの有無の確認。	□	
	2	1段インペラ	損傷、打痕の有無の確認	□	
	3	1段バルブタービン翼	割れ、打痕（ボルトジョイント点検）の有無の確認	□	
	4	スクロール	割れ、焼損の有無の確認	□	
減速機	1	減速機上面	振動測定	△	
	2	オイルシール	出力軸部の油漏れの有無の確認	□	
発電機	1	外観	錆び、変色の有無の確認	□	
	2	軸受	グリス漏れ	□	
	3	励磁機回転整流器	緩み、リード線断線の有無の確認	□	
	4	絶縁抵抗	絶縁抵抗測定	△	
	5	端子接続部	ボルトナットの緩み、絶縁シール材の剥離の有無の確認	□	
	6	接地	接続ボルトの緩みの有無の確認	□	
燃料系統	1	燃料小出槽	ドレン抜きより燃料を抜き、水分・スラッジ混入の有無確認	□	
	2	液面スイッチ	外観の確認、作動点検	△	
	3	移送ポンプ	手動始動、停止によるポンプ内のドライ化防止 始動停止シーケンスを確認、絶縁抵抗測定	△	
	4	スターティングフューエルポンプ	油漏れの有無を確認	□	
	5	メインポンプ	油漏れの有無を確認	□	
	6	EFC(S1型)	抵抗測定	□	
	7	高圧ストレーナ	点検、清掃	□	
	8	燃料噴射弁、パッキン、取付ボルト	交換（パッキンもセットで交換）	□	
	9	燃料噴射弁用配管	フルア部外観目視	□	

清久中継ポンプ場（6年）定期点検整備表（2／3）

別紙2-1-2

□:目視、触手点検 △:作動点検 ○:開放点検 ◎:交換、更新

区分	番号	点検箇所	点検内容	点検項目	備考
燃料系統	10	ドレンホット	燃料油の点検清掃	□	燃料フィルタ交換
	11	燃料フィルタ、エア抜きプラグ	外観及び差圧表示の確認、エレメント及びエア抜きプラグ用パッキン交換	◎	
	12	プライマリ燃料圧力	測定、調整	△	
	13	ルキソブルチューブ	漏れの有無の確認	□	
	14	ホソソフトレイン用インパッチューブ	点検	□	
	15	燃料移送ホソソフフィルター	点検、清掃	○	
潤滑油系統	1	潤滑油	始動前にHLバールの75%以上	□	潤滑油フィルタ交換
	2	潤滑油ホソソフ	運転中の油漏れの有無点検	□	
	3	潤滑油フィルタ	外観及び差圧表示の確認(運転中)	◎	
	4	圧力調整弁	運転中の安定した圧力維持の確認	△	
	5	温度調整弁	交換	□	
	6	オイルクーラ	フィンが目詰まり状態の点検・清掃	□	
	7	インレットコレクター、スクリーン	潤滑油（オイルミスト）ドレンの点検、内部清掃、ゴムパッキン交換	□	
	8	測温抵抗体	抵抗計測、確認、交換	△	
	9	圧力スイッチ（油圧低）	作動確認、交換	△	
	10	オイルホソソフ入ロストレーナ	交換	□	
	11	ルキソブルチューブ	漏れの有無確認	□	
	12	Cカップリング	漏れ、割れの有無確認	□	
	13	オイルミストセパレータ（ゴムホース）	点検・清掃、ゴムホース交換	○	
始動系統	1	鉛蓄電池MSE	漏液、汚損の有無の確認、単電池電圧計測	○	
	2	充電器	端子・接続バーの発錆、ボルトの緩み、入力電圧・充電電圧確認	△	
	3	セルモータ(30kW以上)	ブラシ、コミュータのエア吹かし清掃	○	
	4	マグネットコネクタ(24V、48V系)	主接点の確認	□	
軸継手	1	トヨ式カップリング	交換	□	
	2	カップリングボルト	緩み、脱落、発錆の有無確認	□	
点火系統	1	イサタ	スパークの確認、コネクタの緩みの有無の確認	△	
	2	点火栓	点火栓交換	△	
	3	アースケーブル	外観目視点検	□	
制御機器	1	回転用ビックアップ	交換	△	
	2	制御用ビックアップ	交換	△	
	3	排気温度サモカップル	交換	△	
	4	E.C.B	前面パネ表示確認、コネクタ緩みの有無の確認	□	
	5	DC/DCコンバータ	入出力電圧確認	△	
	6	インバータ、Yハーネ	交換	△	
計器類	1	油圧計	停止中、運転中の異常の有無の確認、交換	□	
	2	油温計	停止中、運転中の異常の有無の確認、交換	□	
	3	圧縮機圧力計	停止中、運転中の異常の有無の確認、交換	□	
	4	回転計	停止中、運転中の異常の有無の確認	□	
	5	排気温度計	//	□	
	6	周波数計	//	□	
	7	電流計	//	□	

清久中継ポンプ場（6年）定期点検整備表（3／3）

別紙2-1-3

□:目視、触手点検 △:作動点検 ○:開放点検 ◎:交換、更新

区分	番号	点検箇所	点検内容	点検項目	備考
計器類	8	電圧計	目盛試験及び停止、運転時の異常の有無の確認	△	
	9	電力計	//	△	
	10	始動回数計	//	△	
	11	運転時間計	//	△	
給換排気系統	1	給気ファン	自動始動・停止の確認、絶縁計測	△	
	2	換気ファン	自動始動・停止の確認、絶縁計測	△	
	3	オイルクーラーファン	自動始動・停止の確認、翼の汚れ点検・清掃の実施、絶縁計測	△	
	4	排気消音器	発錆、ガス漏れ、雨水浸入の有無	□	
	5	排気ダクト	ガス漏れ、断熱材の脱落、雨水浸入の有無、ドレシ の確認	□	
	6	吸気ルート	吸気口への異物の詰りの有無の確認	□	
	7	給・換気ダクトパー ス	作動点検	□	
	8	排気伸縮管	損傷、割れの有無の確認	□	
主要ボルト	1	発電装置	基礎ボルト、ナットの緩み、発錆の有無の確認	□	
	2	減速機	基礎ボルト、ナットの緩み、発錆の有無の確認	□	
	3	発電機	基礎ボルト、ナットの緩み、発錆の有無の確認	□	
	4	防振ゴム	基礎ボルト、ナットの緩み	□	
	5	燃料小出槽	基礎ボルト、ナットの緩み、発錆の有無の確認	□	
	6	始動盤・発電機盤	基礎ボルト、ナットの緩み、発錆の有無の確認	□	
	7	排気消音器	基礎ボルト、ナットの緩み、発錆の有無の確認	□	
盤系統	1	表示灯	表示状態の確認	□	
	2	ヒューズ	断線の有無の確認	□	
	3	保護継電器	性能点検、保護継電器試験(リレー試験)	△	
	4	位置切替スイッチ	自動・手動及び各計器類異常の有無の確認	△	
	5	押しボタン	ひっかかりの有無の確認	△	
	6	遮断機	入切による開閉機能動作の確認	△	
	7	主回路	清掃、絶縁抵抗測定	△	
	8	補機電源回路	清掃、絶縁抵抗測定	△	
	9	接地線	導通確認	△	
	10	その他	汚損、発錆、損傷等の有無の確認	□	
動作及びシーケンス確認	1	入力信号確認	回転数、排気温度、油温について0、50、100%模 入力による確認	△	
	2	ECB保護装置			
		1) 潤滑油圧力低下	実動作テスト	△	
		2) 排気温度高	シミュレーションテスト	△	
		3) 過電流	シミュレーションテスト	△	
		4) 過電圧	シミュレーションテスト	△	
		5) 始動渋滞	シミュレーションテスト	△	
		6) 過速度	シミュレーションテスト	△	
		7) 潤滑油温度高	シミュレーションテスト	△	
	3	電圧調整	定格電圧±5%がスムーズに変圧可能	△	
	4	警報装置	作動確認の実施	△	
	5	運転諸元	異常な計測値がないこと	△	

※ その他、法令及びメーカーが定める6年点検項目を基準とする。

東中継ポンプ場（1年）定期点検整備表（1／5）

区分	点 検 部		番号	点検整備項目（内容）	点検種別	備 考
					B 点 検	
機器点検	設置状況		1	周囲の状況、区画、水の浸透、換気、照明、標準及び表示灯に点検上、操作上及び告示基準上問題はないか、又運転上障害はないか目視点検する。	○	
	自家発電装置	パッケージ	2	表面、扉及び内装等に変形損傷、腐食等の異常がないか点検する。	○	屋外仕様は雨水侵入がないかも点検する
		原動機	3	原動機及び付属機器に変形、損傷、脱落、腐食等の異常はないか点検する。	○	
			4	1ボルト・ナット等の緩みがないか点検し、必要があれば増締めを実施する。	○	
			5	燃料系統、潤滑油系統、始動空気系統に漏れがないことを点検する。	○	
		発電機	6	出力端子及び保護カバーに変形、腐食、緩み等異常のないことを点検する。	○	
			7	発電機巻線部及び導電部周囲に塵埃、油脂等による汚損や乾燥状態等を目視点検する。	○	
		発電装置	8	台板上、減速機の基礎ボルト、カップリングの取付ボルト、発電機の基礎ボルト等に緩みがないことを点検し必要があれば増締めする。	○	
			9	原動機潤滑油量を点検し、必要があれば補油する。	○	
			10	発電機軸受けグリスの充填状況を点検し、必要があれば充填する。	○	
			11	手動にて起動し運転諸元を計測し、性能を点検する。	○	
			12	手動にて停止し停止時間等を計測し、性能を点検する。	○	
	始動装置		13	蓄電池、蓄電池盤の外観を点検する。	○	
			14	電圧を点検する。	○	
			15	空気槽、圧力の点検をする。（空気始動方式の場合）	○	
			16	蓄電池の各セルの液面及び比重を計測する。または電圧を計測する。	○	
			17	端子の増締めを行う。	○	
			18	蓄電池の充電装置を手動にて、均等、浮動の切替を行い点検する。	○	充電電圧・電流をよみとる
	制御装置		19	周囲の状況、外形、電源表示灯各スイッチ及び遮断器等に変形、損傷、焼損等、異常のないことを点検する。	○	
			20	各コネクター類に緩みがないか点検し必要があれば増締めする。	○	
			21	制御用蓄電池電圧及び外形上異常のないことを点検する。	○	
			22	手動にて遮断器の作動確認する。	○	但し、他機器に影響を与える恐れがある場合は、別途協議の上決定する
			23	補機用ブレーカの開閉機能が正常であることを点検する。	○	
			24	各ヒューズ類の容量、熔断の有無等を点検し、必要があれば補充する。	○	
			25	過電流、過電圧継電器を接点短絡させ、遮断機能表示、警報等の点検をする。（継電器試験）	○	5台
			26	軽故障、重故障の表示、警報を接点短絡により点検する。	○	
			27	蓄電池の充電装置を手動にして均等、浮動の切替を行ない点検する。	○	
			28	蓄電池の液面、比重を計測する。または、電圧を計測する。	○	
			29	端子の緩みを点検し、必要があれば増締めする。	○	

東中継ポンプ場（１年）定期点検整備表（２／５）

区分	点 検 部		番号	点検整備項目（内容）	点検種別	備 考
					B 点 検	
機器点検	計器類		30	パッケージ内及び盤面電気計器類に指針の狂い等異常のないことを点検し必要であれば調整する。	○	電流、電圧、周波数、電力、力率計は目盛試験を実施する
			31	無負荷運転中、パッケージ内及び盤面上、計器の作動値を点検記録し、計器の作動と計器の性能を点検し、必要であれば調整する。	○	
	燃料タンク		32	燃料タンクに変形、損傷、漏洩等、異常がないことを点検する。	○	
			33	油量、レベル計、油に異常がないことを点検する。	○	
			34	A重油ヒータ装備仕様においては、ヒータ表面の洗浄とヒータの気密試験（50kPa）を行う。		
	排気装置（消音器）		35	周囲の状況、外形上の変形、貫通部の漏れによる汚損等、異常のないことを点検する。	○	
	配管及び諸弁		36	配管や諸弁に変形損傷及び操作上の誤り等がないことを点検する。	○	
	結線接続		37	主回路、補機回路、制御ケーブルコネクタに端子の緩みやひび等、異常がないか点検する。	○	
	接地		38	接地線の切断、し接続部のボルトの緩み損傷等がないことを点検する。	○	
	耐震処置		39	下記、機器の基礎ボルト、ナットに変形、損傷、緩み等異常のないことを点検し、必要があれば増締めする。 イ. 発電装置 ロ. 制御装置（盤関係） ハ. 燃料タンク（含、架台） ニ. 各可とう式管接手	○	
総合点検	予備品等		40	予備品等の使用状況及び補充について打合せをし必要があれば補充する。	○	
	接地抵抗		41	ガスタービン発電装置用の単独接地で且つ、計測するのが簡易な場合のみ接地抵抗を測定し異常がないことを点検する。	○	
	絶縁抵抗		42	主回路一括で絶縁抵抗を計測し、異常のないことを確認する。	○	
	始動装置		43	起動時の蓄電池電圧降下を計測し、異常のないことを確認する。	○	
	保安装置		44	各装置の検出部を実作動させ下記の保護装置等の作動が正常であることを点検する。 イ. 潤滑油圧力低下（実作動） ロ. 排気温度上昇（模擬信号にて実施） ハ. 非常停止（実作動） ニ. 過速度（実作動もしくは模擬信号）	○	消防法による
	負 荷 運 転	運転状況	45	実負荷運転あるいは無負荷運転は、機関性能を安定化するために連続20分以上実施し各運転諸元を計測すると共に性能等に異常のないことを点検する。	○	
		換気	46	連続運転中、発電機室及びパッケージ内の温度を計測することにより、給排気の換気状況が正常であることを点検する。	○	

東中継ポンプ場（1年）定期点検整備表（3/5）

区分	点検部	番号	点検整備項目（内容）	点検種別	備考
				B 点 検	
燃料系統	燃料第1こし器	47	取外し点検清掃	○	
	燃料第2こし器	48	エレメント交換		
	DC24V フィードポンプ	49	カーボンブラシの点検		
		50	カーボンブラシの交換		6年毎に点検
		51	交換		
	テープヒータ	52	断線・保温材の破損点検	○	6年毎に点検定期点検：絶縁抵抗10MΩ以上のこと
	燃料調量弁	53	着火流量（スタートフロー）計測	○	
		54	交換		W.W.38xjについては9年で交換、他は12年で交換
	燃料遮断弁	55	ピストンプッシュ洗浄点検		燃料漏れ無きこと
		56	燃料遮断弁の交換		
	バイパス弁	57	ピストンプッシュ洗浄		
		58	交換		
	フローデバイダ	59	点検清掃		AT1200,1800のみ
		60	交換		AT1200,1800のみ
	安全弁	61	啓開圧力計測		ノズルテスターを用いる
	スプレヤ仕組	62	抜き出し外観点検	○	カーボン付着無きこと
	スプレヤーノズル	63	分解洗浄	○	燃料漏れ無きこと パッキン交換
		64	分解点検		9年で交換推奨
	エアスワラ	65	分解洗浄・カーボン落し	○	9年で交換推奨
	燃焼器ライナ	66	取外し点検清掃	○	F点検で交換推奨
	点火プラグ	67	取外し点検清掃及び作動点検	○	作動点検はエキサイタとともに実施する ガスケット交換
		68	交換		
	エキサイタ	69	作動点検	○	点火プラグとともに実施する
		70	交換		
	エア・アシストポンプ	71	交換		
潤滑油系統	潤滑油こし器	72	エレメント交換		（異物無きこと）
	潤滑油クーラ	73	空気側清掃	○	
	潤滑油	74	分析、および交換		3年で必ず分析、要すれば交換 6年で交換

東中継ポンプ場（１年）定期点検整備表（４／５）

区分	点 検 部	番号	点検整備項目（内容）	点検種別	備 考
				B 点 検	
軸系	カップリング	75	芯振れ・面振れ点検		
		76	カップリングゴム外観点検		
		77	カップリングゴム分解交換		9年で交換推奨
防振系	防振ゴム	78	共通台の振動計測による劣化点検		D点検においては振動計測値を参考とし、要すれば交換する。9年で交換推奨
始動系統	セルモータ	79	カーボンブラシ点検、主接点の点検	○	要すれば交換
		80	ピニオンギヤ点検およびグリスアップ		
		81	分解・点検		E”点検交換
	バッテリースイッチ	82	点検	○	
	スタータリレー（マグネチックスイッチ）	83	接点面の点検	○	
	蓄電池	84	電圧・比重測走・液量点検	○	メーカー基準に準ずる
		85	触媒柱交換		メーカー基準に準ずる
		86	1 交換		メーカー基準に準ずる
	空気始動用エアモータ	87	潤滑油量の確認	○	要すれば都度、補充
		88	起動時のエア漏れの有無、		
		89	ギヤの歯面の確認		
空気始動系統	コンプレッサ	90	潤滑油の種類及び量の確認	○	
		91	作動点検	○	
		92	分解点検		要すれば必要部品交換
		93	アンローダ及びドレン分離器分解・清掃	○	
		94	充気試験	○	
	始動用空気槽	95	ドレン抜	○	
		96	操作弁・安全弁の作動確認	○	
		97	内部点検		
	始動用空気減圧弁	98	分解・清掃		
		99	ダイヤフラム・弁体交換		
制御系統	潤滑油温度センサ及び吸・排気温度センサ・油圧センサ回転センサ	100	感温部の点検清掃		
		101	交換		

東中継ポンプ場（1年）定期点検整備表（5/5）

区分	点 検 部	番号	点検整備項目（内容）	点検種別	備 考
				B 点 検	
制御系統	EAC	102	点検・清掃	○	フィルタ・リレー要すれば交換
		103	前面パネル交換		別途打合せによる
		104	CPU基板交換		
		105	電源基板交換		
		106	ファン交換		
	TAC	107	点検・清掃	○	
		108	1/0基板交換		
		109	アナログ（CPUを含む）基板交換		
		110	電源基板交換		
		111	ファン交換		
	TAC2	112	点検・清掃	○	
		113	仕組交換		
動力発生伝達部	圧縮インペラ	114	ファイバースコープ等による健全性点検		
	ディフューザ	115			
	タービン・ノズル	116			
	タービン・ロータ	117			
	スクロール及び 取付ボルト	118			
	ヒートシールド 及び取付ボルト	119			
	ハイスピードピニオン ベアリング	120			AT900系は遊星ギヤとする
	潤滑油フィードパイプ （接合部）	121			AT600系、AT900系のみ
	振動計測	122	振動計測（タービンロータ1次振動）		無負荷20分後
その他	燃料ポンプ	123	全分解点検調整		
	潤滑油ポンプ	124	全分解点検調整		
	減速機部	125	全分解点検調整		E”は工場で実施
		126	内部点検		
	消音装置	127	内部点検		
		128	外部点検（発錆、変形、亀裂等点検）		屋外仕様
	パッケージ(キュービクル)	129	コーキング部点検	○	同上
総合試験	機付計器類	130	圧縮圧力計・潤滑油圧力計・潤滑油温度計の交換		要すれば交換
	起動試験	131	充電無しで3回起動	○	別途打合せによる
	振動試験	132	振動計測（共通台）	○	
	機関性能試験	133		○	
	実停電試験	134		○	

※ その他、法令及びメーカーが定める1年点検項目を基準とする。

※ 今年度はB点検（1年点検）で有るが、パワーモジュールの交換整備点検を含む。

鷺宮中継ポンプ場（6年）定期点検整備表（1／3）

別紙2-3-1

□:目視、触手点検 △:作動点検 ○:開放点検 ◎:交換、更新

区分	番号	点検箇所	点検内容	点検項目	備考
設備状況全般	1	発電装置	発電機の損傷の有無確認、装置内への雨水浸入油類のもれ、ボルト類の脱落等の確認、発錆の有無確認	□ □ □	発電機及び 原動機
	2	始動操作盤	状態表示ランプ、異常点灯の有無確認、盤内外の焼損、盤面の球切れ等の有無の確認	□ □	
	3	直流電源盤	出力電圧の確認、バッテリーの異常有無の確認 充電電源が入っていること	□ □	
	4	排気ダクト/消音器	焼損、ガス漏れによる汚損等の有無の確認、ドリルの確認（サイリウム底部）	□ □	
	5	給気ダクト	ビニール類の付着、変形等の有無の確認	□	
	6	燃料小出し槽	外観上の汚損、残油量の確認	□	
	7	周囲の状況	保有距離、保有空地が保たれていること	□	
運転状況全般	1	始動・停止	自動始動の確認、振動、異常音、臭気等の有無	△	
	2	運転諸元	保守点検記録確認、振動、異常音、臭気等の有無の確認	□	
	3	オイルクーラファン 給・換気ダクト 給・換気ファン	連動補機が自動始動することの確認 作動の確認、振動異常音の有無の確認 作動の確認、振動異常音の有無の確認	△ △ △	
	4	操作位置	全て所定の位置にあることの確認	□	
ガスタービン	1	燃焼器ライナ、燃焼筒取付ボルト	汚損や割れ等、変形や伸びの有無の確認。	□	
	2	1段インペラ	損傷、打痕の有無の確認	□	
	3	1段ファン、タービン翼	割れ、打痕（ボルトコップ点検）の有無の確認	□	
	4	スクロール	割れ、焼損の有無の確認	□	
減速機	1	減速機上面	振動測定	△	
	2	オイルシール	出力軸部の油漏れの有無の確認	□	
発電機	1	外観	錆び、変色の有無の確認	□	
	2	軸受	グリス漏れ	□	
	3	励磁機回転整流器	緩み、リット線断線の有無の確認	□	
	4	絶縁抵抗	絶縁抵抗測定	△	
	5	端子接続部	ボルトナットの緩み、絶縁シール材の剥離の有無の確認	□	
	6	接地	接続ボルトの緩みの有無の確認	□	
燃料系統	1	燃料小出槽	ドリル抜きより燃料を抜き、水分・スラッジ混入の有無確認	□	
	2	液面スイッチ	外観の確認、作動点検	△	
	3	移送ポンプ	手動始動、停止によるポンプ内のドライ化防止 始動停止シケルを確認、絶縁抵抗測定	△	
	4	スターティング・フューエルポンプ	油漏れの有無を確認	□	
	5	メインポンプ	油漏れの有無を確認	□	
	6	EFC(S1型)	抵抗測定	□	
	7	高圧ストレータ	点検、清掃	□	
	8	燃料噴射弁、パッキン、取付ボルト	交換（パッキンもセットで交換）	□	
	9	燃料噴射弁用配管	フルア部外観目視	□	

鷺宮中継ポンプ場（6年）定期点検整備表（2／3）

別紙2-3-2

□:目視、触手点検 △:作動点検 ○:開放点検 ◎:交換、更新

区分	番号	点検箇所	点検内容	点検項目	備考
燃料系統	10	ドレンポット	燃料油の点検清掃	□	燃料フィルタ交換
	11	燃料フィルタ、エア抜きプラグ	外観及び差圧表示の確認、エレメント及びエア抜きプラグ用パッキン交換	◎	
	12	プライマリ燃料圧力	測定、調整	△	
	13	フライングバルブ	漏れの有無の確認	□	
	14	ポンプドレン用インバルブ	点検	□	
	15	燃料移送ポンプフィルタ	点検、清掃	○	
潤滑油系統	1	潤滑油	始動前にHLバルの75%以上	□	潤滑油フィルタ交換
	2	潤滑油ポンプ	運転中の油漏れの有無点検	□	
	3	潤滑油フィルタ	外観及び差圧表示の確認(運転中)	◎	
	4	圧力調整弁	運転中の安定した圧力維持の確認	△	
	5	温度調整弁	交換	□	
	6	オイルラ	フィンの目詰まり状態の点検・清掃	□	
	7	インレットコレクター、スクリーン	潤滑油（オイルミスト）ドレンの点検、内部清掃、ゴムパッキン交換	□	
	8	測温抵抗体	抵抗計測、確認、交換	△	
	9	圧力スイッチ（油圧低）	作動確認、交換	△	
	10	オイルポンプ入口ストレーナ	交換	□	
	11	フライングバルブ	漏れの有無確認	□	
	12	Cカップリング	漏れ、割れの有無確認	□	
	13	オイルミストセパレータ(ゴムホース)	点検・清掃、ゴムホース交換	○	
始動系統	1	鉛蓄電池MSE	漏液、汚損の有無の確認、単電池電圧計測	○	
	2	充電器	端子・接続部の発錆、ボルトの緩み、入力電圧・充電電圧確認	△	
	3	ヒーター(30kW以上)	グラブ、ヒーターのエア吹かし清掃	○	
	4	マグネットコネクタ(24V、48V系)	主接点の確認	□	
軸継手	1	トーヨー式カップリング	交換	□	
	2	カップリングボルト	緩み、脱落、発錆の有無確認	□	
点火系統	1	イキタイ	スパークの確認、コネクタの緩みの有無の確認	△	
	2	点火栓	点火栓交換	△	
	3	アースケーブル	外観目視点検	□	
制御機器	1	回転用ヒックアップ	交換	△	
	2	制御用ヒックアップ	交換	△	
	3	排気温度サーモカップル	交換	△	
	4	E.C.B	前面パネ表示確認、コネクタ緩みの有無の確認	□	
	5	DC/DCコンバータ	入出力電圧確認	△	
	6	インバーナ、Yハーネ	交換	△	
計器類	1	油圧計	停止中、運転中の異常の有無の確認、交換	□	
	2	油温計	停止中、運転中の異常の有無の確認、交換	□	
	3	圧縮機圧力計	停止中、運転中の異常の有無の確認、交換	□	
	4	回転計	停止中、運転中の異常の有無の確認	□	
	5	排気温度計	//	□	
	6	周波数計	//	□	
	7	電流計	//	□	

鷺宮中継ポンプ場（6年）定期点検整備表（3／3）

別紙2-3-3

□:目視、触手点検 △:作動点検 ○:開放点検 ◎:交換、更新

区分	番号	点検箇所	点検内容	点検項目	備考
計器類	8	電圧計	目盛試験及び停止、運転時の異常の有無の確認	△	
	9	電力計	//	△	
	10	始動回数計	//	△	
	11	運転時間計	//	△	
給換排気系統	1	給気ファン	自動始動・停止の確認、絶縁計測	△	
	2	換気ファン	自動始動・停止の確認、絶縁計測	△	
	3	オイルクーファン	自動始動・停止の確認、翼の汚れ点検・清掃の実施、絶縁計測	△	
	4	排気消音器	発錆、ガス漏れ、雨水浸入の有無	□	
	5	排気ダクト	ガス漏れ、断熱材の脱落、雨水浸入の有無、ドレシの確認	□	
	6	吸気ルート	吸気口への異物の詰りの有無の確認	□	
	7	給・換気ダクト	作動点検	□	
	8	排気伸縮管	損傷、割れの有無の確認	□	
主要ボルト	1	発電装置	基礎ボルト、ナットの緩み、発錆の有無の確認	□	
	2	減速機	基礎ボルト、ナットの緩み、発錆の有無の確認	□	
	3	発電機	基礎ボルト、ナットの緩み、発錆の有無の確認	□	
	4	防振ゴム	基礎ボルト、ナットの緩み	□	
	5	燃料小出槽	基礎ボルト、ナットの緩み、発錆の有無の確認	□	
	6	始動盤・発電機盤	基礎ボルト、ナットの緩み、発錆の有無の確認	□	
	7	排気消音器	基礎ボルト、ナットの緩み、発錆の有無の確認	□	
盤系統	1	表示灯	表示状態の確認	□	
	2	ヒューズ	断線の有無の確認	□	
	3	保護継電器	性能点検、保護継電器試験(リレー試験)	△	
	4	位置切替スイッチ	自動・手動及び各計器類異常の有無の確認	△	
	5	押しボタン	ひっかかりの有無の確認	△	
	6	遮断機	入切による開閉機能動作の確認	△	
	7	主回路	清掃、絶縁抵抗測定	△	
	8	補機電源回路	清掃、絶縁抵抗測定	△	
	9	接地線	導通確認	△	
	10	その他	汚損、発錆、損傷等の有無の確認	□	
動作及びシーケンス確認	1	入力信号確認	回転数、排気温度、油温について0、50、100%模擬入力による確認	△	
	2	ECB保護装置			
		1) 潤滑油圧力低下	実動作テスト	△	
		2) 排気温度高	シミュレーションテスト	△	
		3) 過電流	シミュレーションテスト	△	
		4) 過電圧	シミュレーションテスト	△	
		5) 始動渋滞	シミュレーションテスト	△	
		6) 過速度	シミュレーションテスト	△	
		7) 潤滑油温度高	シミュレーションテスト	△	
	3	電圧調整	定格電圧±5%がスムーズに変圧可能	△	
	4	警報装置	作動確認の実施	△	
	5	運転諸元	異常な計測値がないこと	△	

※ その他、法令及びメーカーが定める6年点検項目を基準とする。

交換材料一覧表

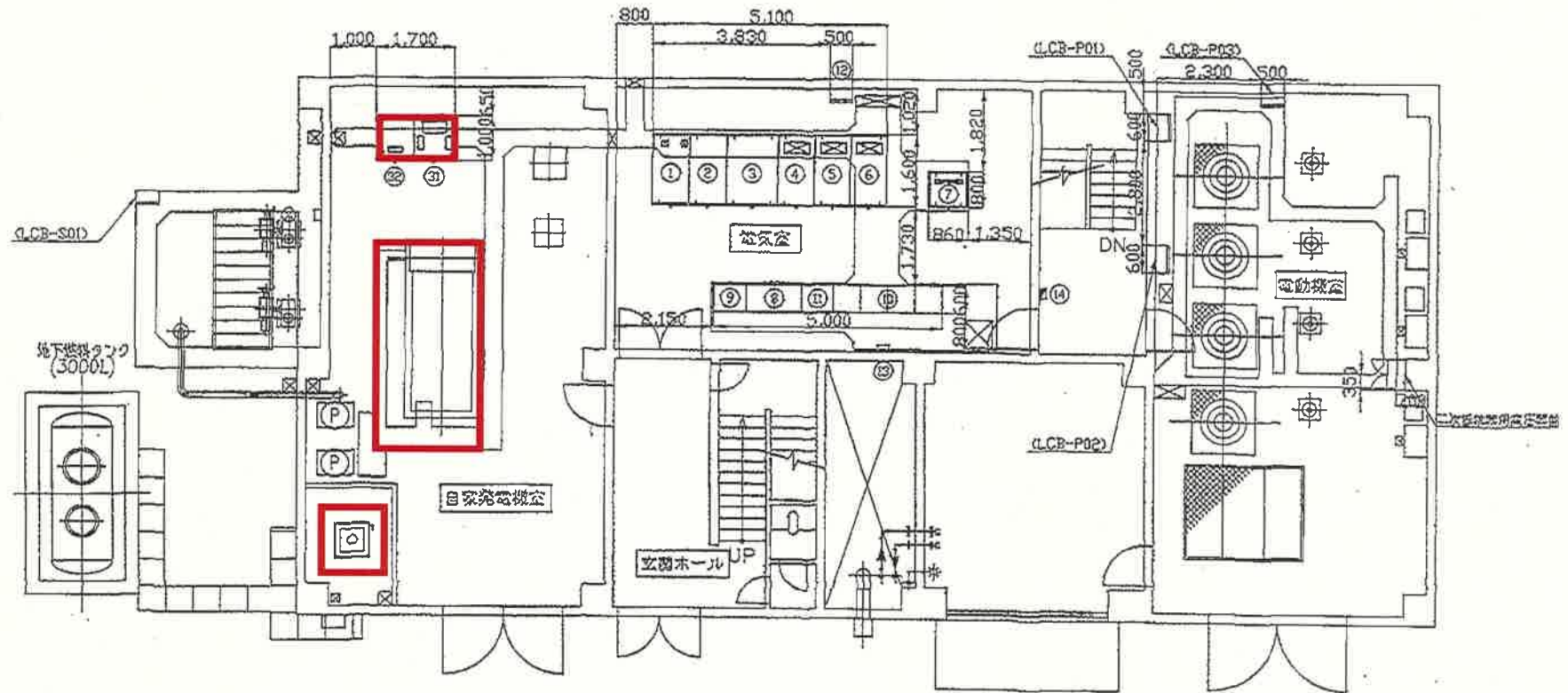
別紙3

1 清久中継ポンプ場 ガスタービン発電機 (T-300B-ER) 用		
(1) 潤滑油フィルタ	00-850-231-05	1 個
(2) 測温抵抗体	00-880-010-14	1 個
(3) 圧カスイッチ	00-880-006-02	1 個
(4) オイルミストセパレータ用ゴムホース	51-290-307-01	1 本
(5) 燃料フィルタ	00-850-231-05	1 個
(6) E F C	00-850-680-15	1 台
(7) 燃料噴射弁	00-850-440-05-6Y	1 個
(8) 回転用ピックアップ	33200-0001	1 個
(9) 制御用ピックアップ	33200-0001	1 個
(10) 排気温度サーモカップル	00-840-001-40	1 式
(11) 点火栓	33150-0013	1 個
(12) エキサイタ	33151-0014	1 個
(13) カップリングラバー	00-700-3-032-01	1 個
(14) DC/DCコンバータ	T-300B-ER用	1 個
(15) 油圧計	00-980-018-20	1 個
(16) 油圧計用アダプタ	05-140-042-02	1 個
(17) 圧縮機用圧力計	00-980-018-20	1 個
(18) 圧縮機用圧力計用アダプタ	05-140-042-04	1 個
(19) 油温計	90243-0029	2 個
2 東中継ポンプ場 ガスタービン発電機 (EFOP-RD) 用		
(1) パワーモジュール	AT600S	1 基
(2) パッキン類	EFOP-RD用	
(3) 機関潤滑油	EFOP-RD用(5ガロン缶:25.5kg)	3 缶
3 鷺宮中継ポンプ場 ガスタービン発電機 (SBON-A) 用		
(1) 潤滑油フィルタ	00-850-231-05	1 個
(2) 測温抵抗体	00-880-010-14	1 個
(3) 圧カスイッチ	00-880-006-02	1 個
(4) オイルミストセパレータ用ゴムホース	51-290-307-01	1 本
(5) 燃料フィルタ	00-850-231-05	1 個
(6) E F C	00-850-680-15	1 台
(7) 燃料噴射弁	00-850-440-05-6Y	1 個
(8) 回転用ピックアップ	33200-0001	1 個
(9) 制御用ピックアップ	33200-0001	1 個
(10) 排気温度サーモカップル	00-840-001-40	1 式
(11) 点火栓	33150-0013	1 個
(12) エキサイタ	33151-0014	1 個
(13) カップリングラバー	00-700-3-032-01	1 個
(14) DC/DCコンバータ	T-300B-ER用	1 個
(15) 油圧計	00-980-018-20	1 個
(16) 油圧計用アダプタ	05-140-042-02	1 個
(17) 圧縮機用圧力計	00-980-018-20	1 個
(18) 圧縮機用圧力計用アダプタ	05-140-042-04	1 個
(19) 油温計	90243-0029	2 個
4 補助材料		1 式

自家発電設備保守点検業務委託（ポンプ場１） 図面目次

図番	図	面	名
1	清久中継ポンプ場		平面図
2	清久中継ポンプ場	自家発電設備	外観図
3	清久中継ポンプ場	ガスタービン発電装置	構造図 1
4	清久中継ポンプ場	ガスタービン発電装置	構造図 2
5	清久中継ポンプ場	自動始動発電機盤	構造図 1
6	清久中継ポンプ場	自動始動発電機盤	構造図 2
7	清久中継ポンプ場	直流電源装置	構造図 1
8	清久中継ポンプ場	直流電源装置	構造図 2
9	東中継ポンプ場		平面図
10	東中継ポンプ場	発電装置	構造図（正面）
11	東中継ポンプ場	発電装置	構造図（平面）
12	東中継ポンプ場	同期発電機	外形寸法図
13	東中継ポンプ場	A T 600 S 形ガスタービン	外形図
14	東中継ポンプ場	A T 600 S 形ガスタービン	断面図
15	東中継ポンプ場	ガスタービン発電装置	単線接続図
16	東中継ポンプ場	機関関係	電気結線図
17	東中継ポンプ場	自動始動盤・発電機盤	正面図
18	東中継ポンプ場	自家発始動用蓄電池設備	外形図
19	東中継ポンプ場	自家発始動用蓄電池設備	結線図
20	鷺宮中継ポンプ場		平面図
21	鷺宮中継ポンプ場	自家発電設備装置	外形図
22	鷺宮中継ポンプ場	ガスタービン発電装置	構造図 1
23	鷺宮中継ポンプ場	ガスタービン発電装置	構造図 2
24	鷺宮中継ポンプ場	直流電源装置	構造図
25	鷺宮中継ポンプ場	自動始動発電機盤	構造図 1
26	鷺宮中継ポンプ場	自動始動発電機盤	構造図 2

清久中継ポンプ場（1階）機器配置平面図



1階配置図 凡例

No.	記号	名称	単位	W×D×H
①	H-1	引込管	→口	800×1600×2600
②	H-2	排水管	→口	800×1600×2600
③	H-3	排水管	→口	1100×1600×2600
④	L-1	400V分岐箱	→口	800×1600×2600
⑤	L-2	200V分岐箱	→口	800×1600×2600
⑥	L-3	照明箱	→口	800×1600×2600
⑦	DC	直流電源装置	→口	800×1600×2600
⑧	C/C-1	三相400V/100V変圧器	→口	1200×1600×2600
⑨	RY-1	三相400V/100V変圧器	→口	700×1600×2600
⑩	C/C-2	三相400V/100V変圧器	→口	1200×1600×2600
⑪	RY-2	三相400V/100V変圧器	→口	700×1600×2600
⑫		排水ポンプ	→口	
⑬		排水ポンプ	→口	

2階配置図 凡例

No.	記号	名称	単位	W×D×H
⑭	G-1	三相400V/100V変圧器	→口	900×1600×2600
⑮	G-2	三相400V/100V変圧器	→口	900×1600×2600

3階配置図 凡例

記号	名称	単位	W×D×H
LCB-P01	No.1電力制御盤	→口	
LCB-P02	No.2電力制御盤	→口	
LCB-P03	No.3電力制御盤	→口	
	三相400V/100V変圧器	→口	600×1600×2600

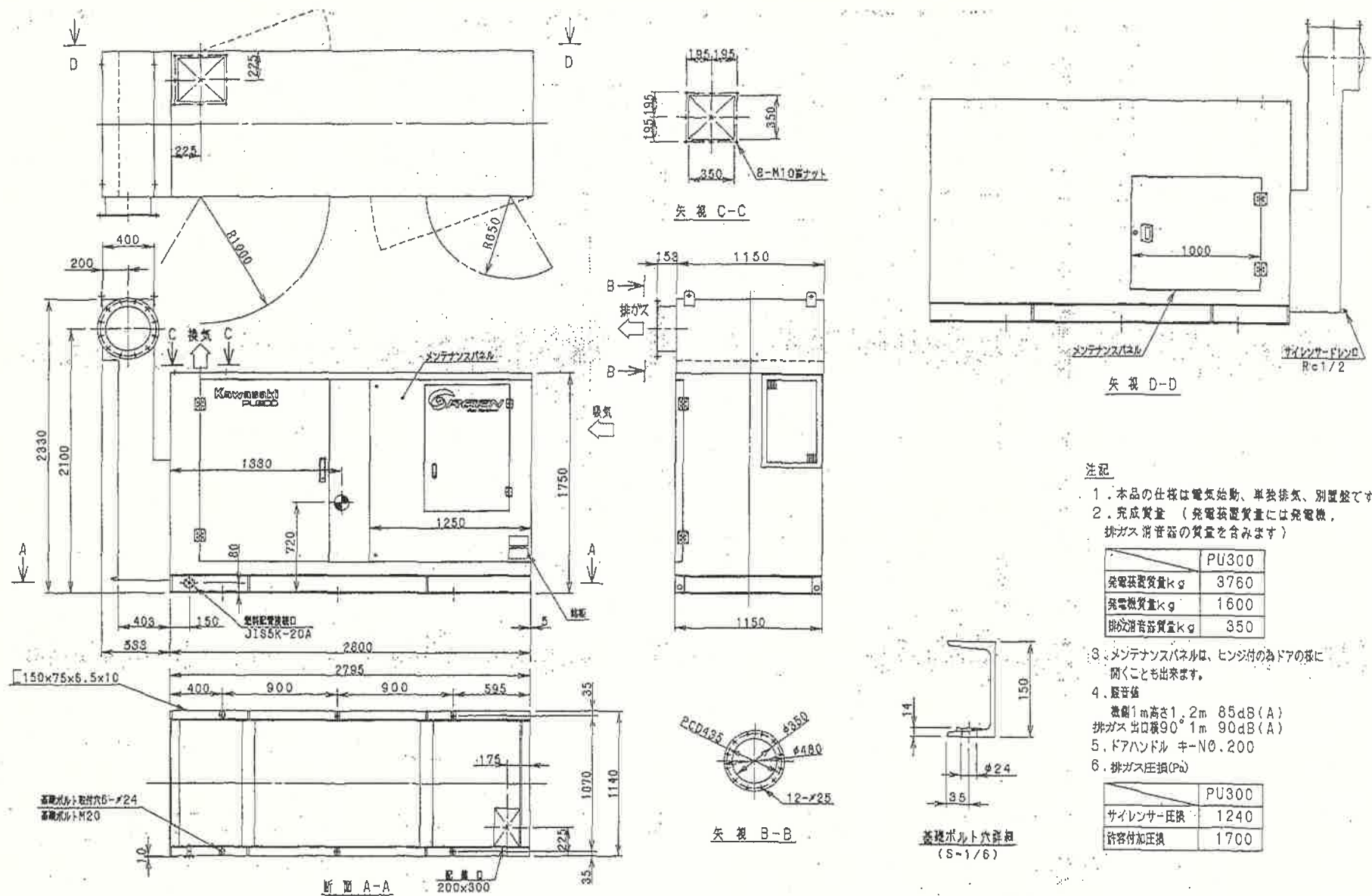
屋外凡例

記号	名称	単位	W×D×H
LCB-S01	三相400V/100V変圧器	→口	

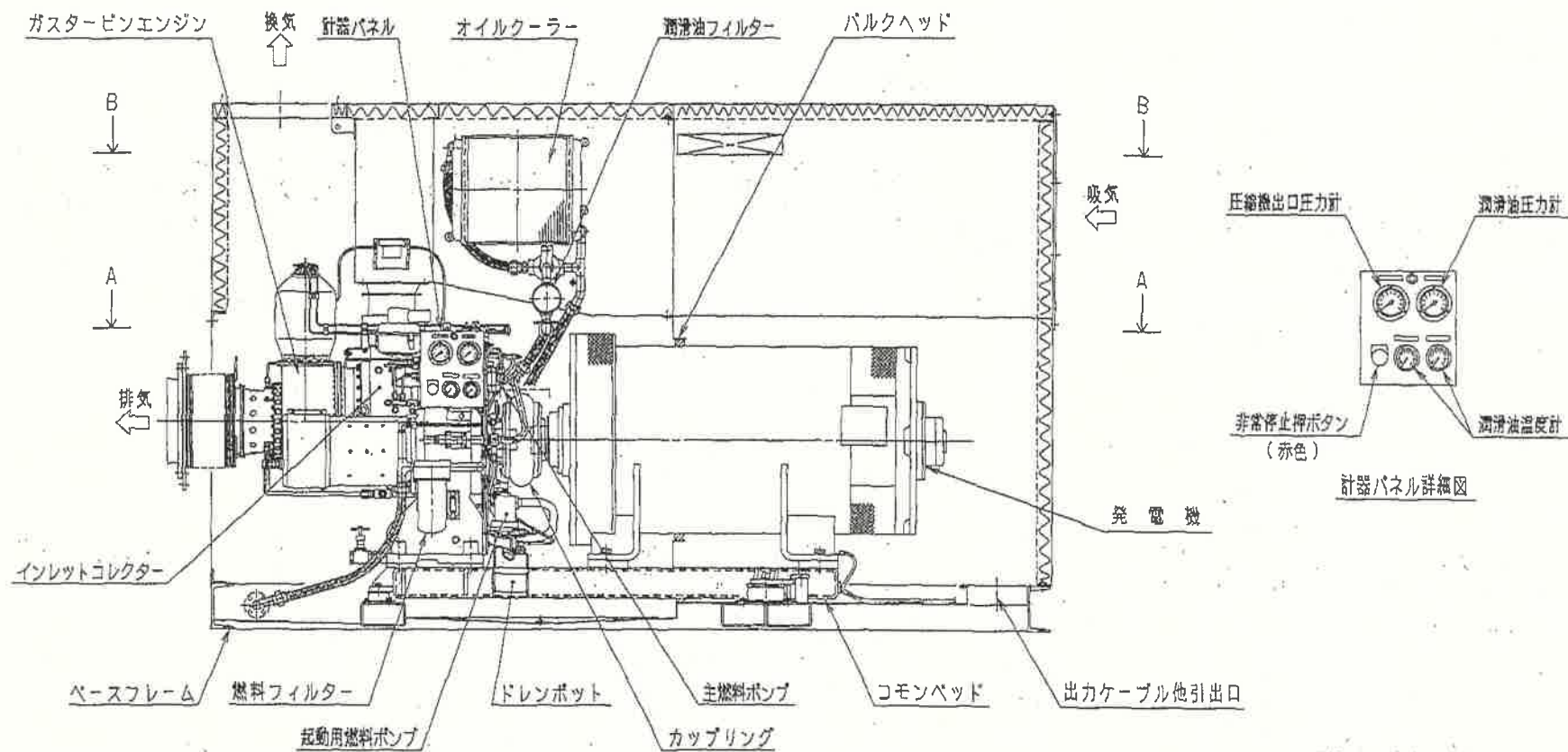
点検対象

1F 配置平面図

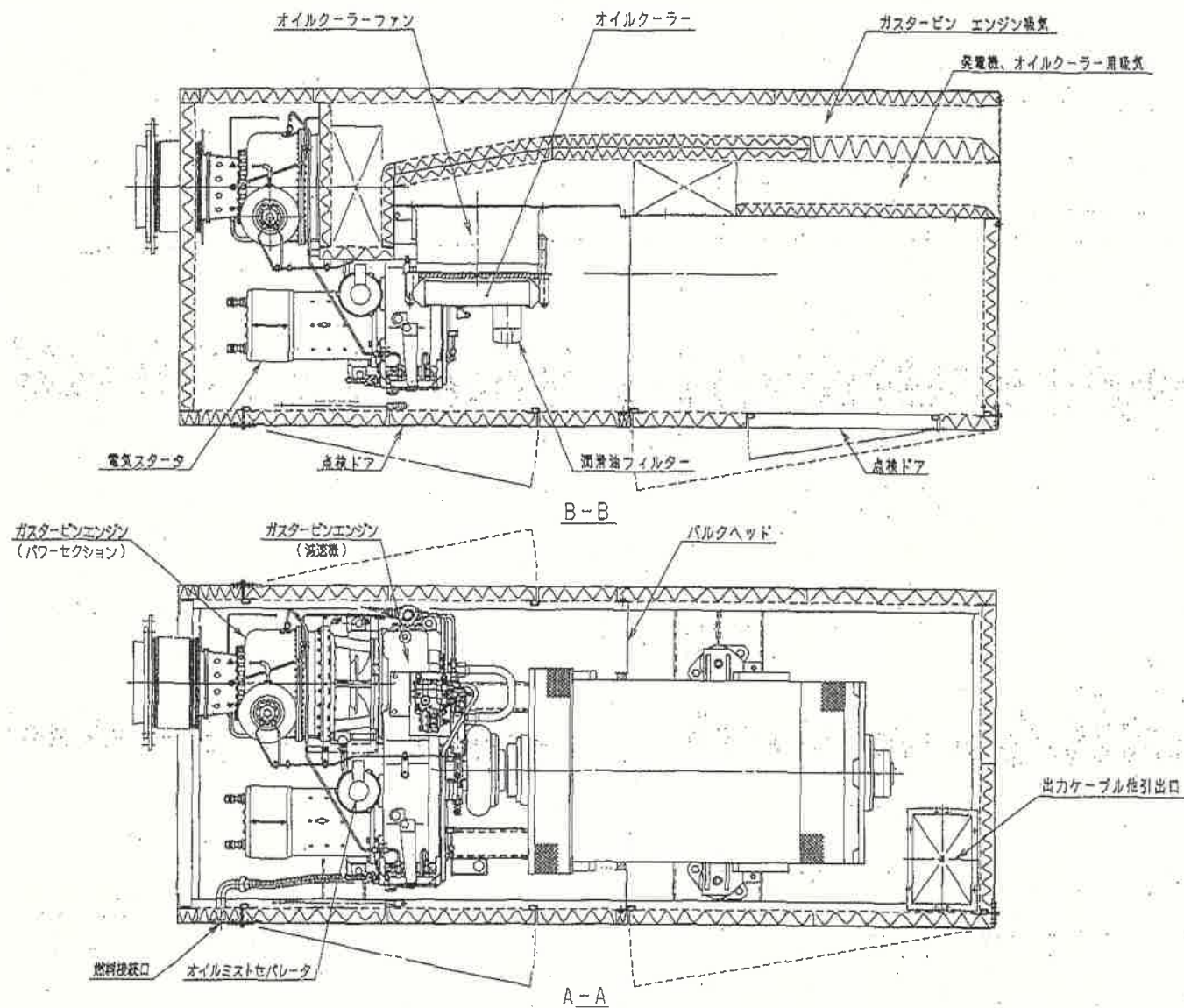
図番 1 清久中継ポンプ場平面図



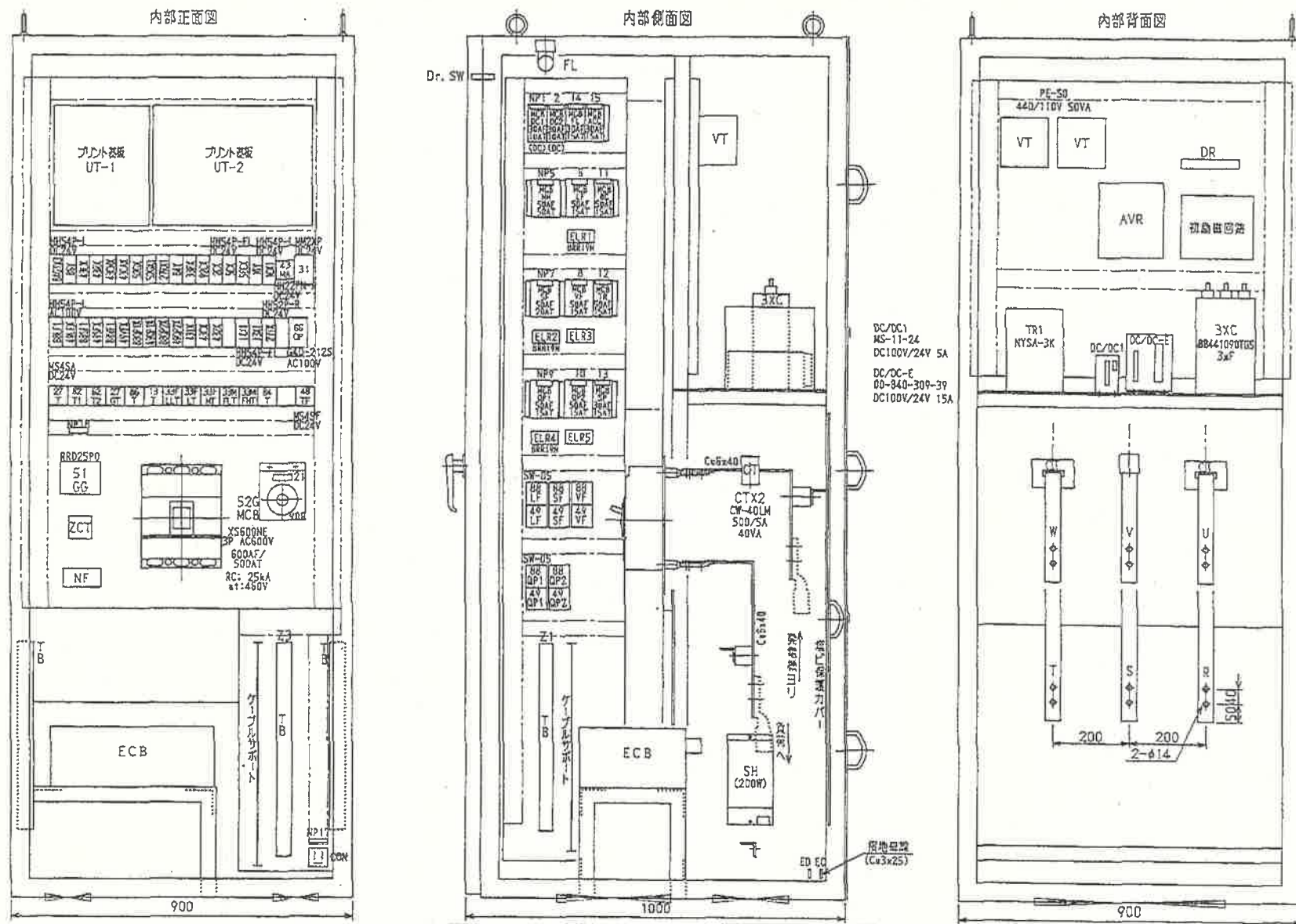
図番 2 清久中継ポンプ場自家発電設備外形図



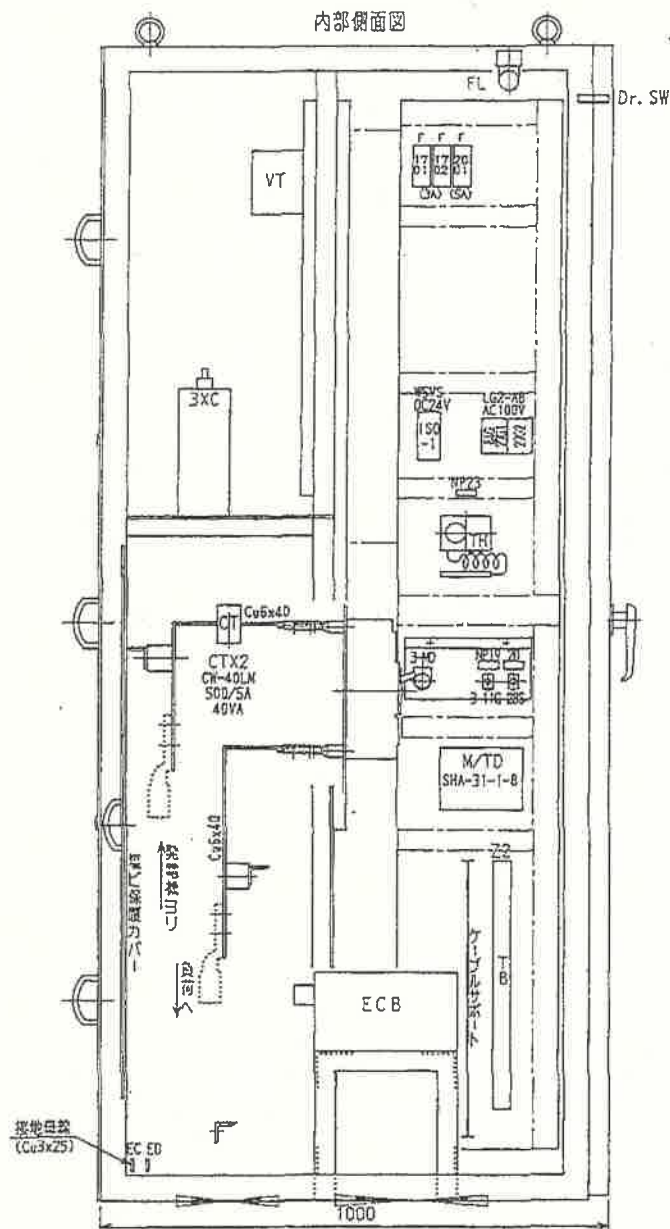
図番 3 清久中継ポンプ場ガスタービン発電装置構造図 1



図番 4 清久中継ポンプ場ガスタービン発電装置構造図 2



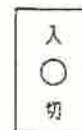
図番 5 清久中継ポンプ場自動始動発電機盤構造図 1



銘板記入文字一覧表(盤内)

銘板はアクリル製にて 白地に黒文字
丸形ゴシック体 裏面より彫刻します

銘板番号	記入文字	数量	サイズ	取付	備考
NP1	制御電源	1	12.5x40x2t	貼付	
NP2	E.C.B.電源	1	12.5x40x2t	貼付	
NP3					
NP4					
NP5	補機主幹電源	1	12.5x40x2t	貼付	
NP6	オイルクーラファン	1	12.5x40x2t	貼付	
NP7	自家発電給気ファン	1	12.5x40x2t	貼付	
NP8	自家発電換気ファン	1	12.5x40x2t	貼付	
NP9	No.1燃料移送ポンプ	1	12.5x40x2t	貼付	
NP10	No.2燃料移送ポンプ	1	12.5x40x2t	貼付	
NP11	充電装置	1	12.5x40x2t	貼付	
NP12	AC100Vトランス	1	12.5x40x2t	貼付	
NP13	給油口ボックス電源	1	12.5x40x2t	貼付	
NP14	AC100V盤内電源	1	12.5x40x2t	貼付	
NP15	AC100V制御電源	1	12.5x40x2t	貼付	
NP16					
NP17	ジャント AC125V 15A	1	12.5x40x2t	貼付	
NP18	地絡継電器	1	12.5x40x2t	貼付	
NP19	試験スイッチ	1	12.5x40x2t	貼付	
NP20	警報	1	12.5x40x2t	貼付	
NP21	電圧調整	1	12.5x40x2t	貼付	
NP22					
NP23	盤内スペースヒータ	1	12.5x40x2t	貼付	
NP24					
NP25					

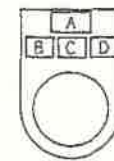


28S

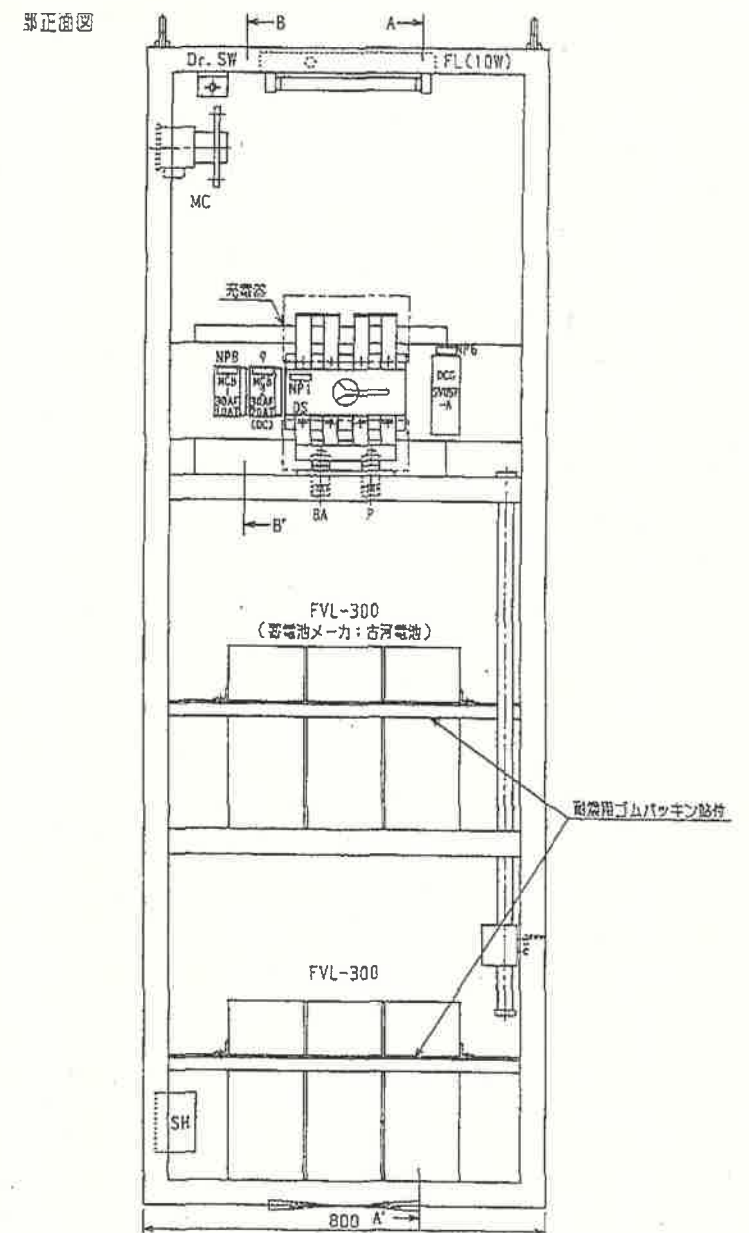
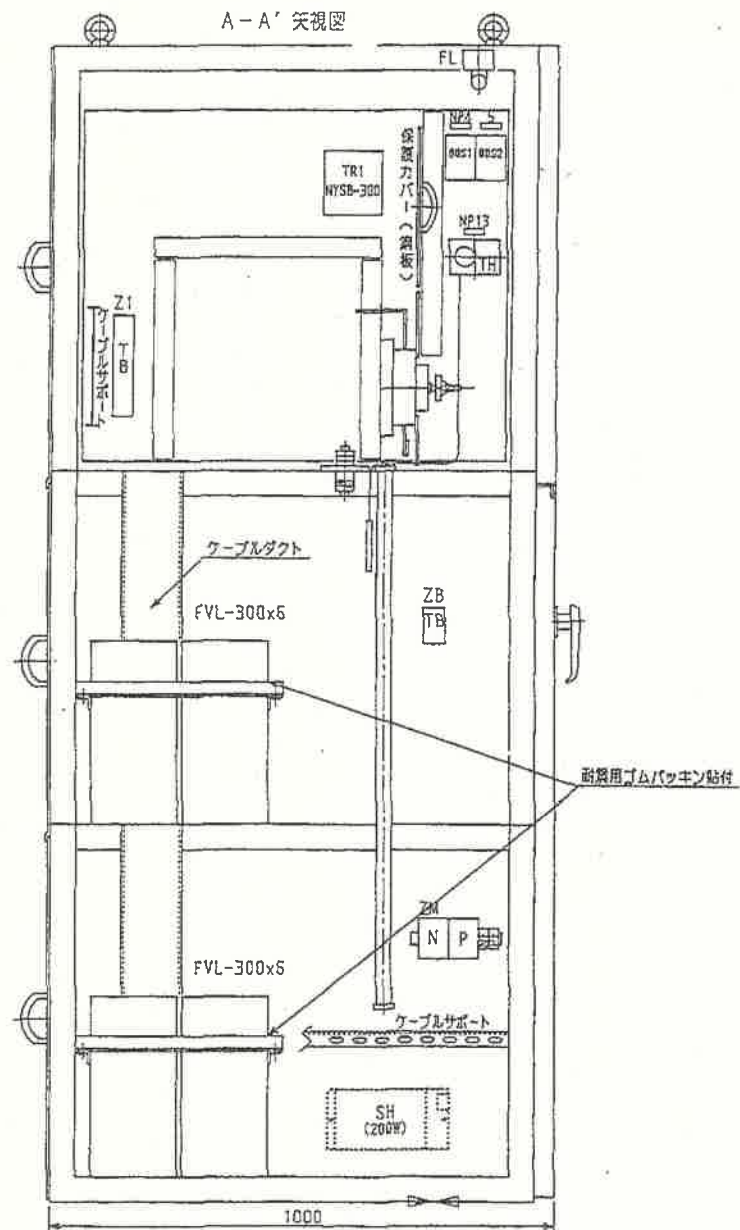


3-11G

器具番号	A	B	C	D
3-MO	モータリング			

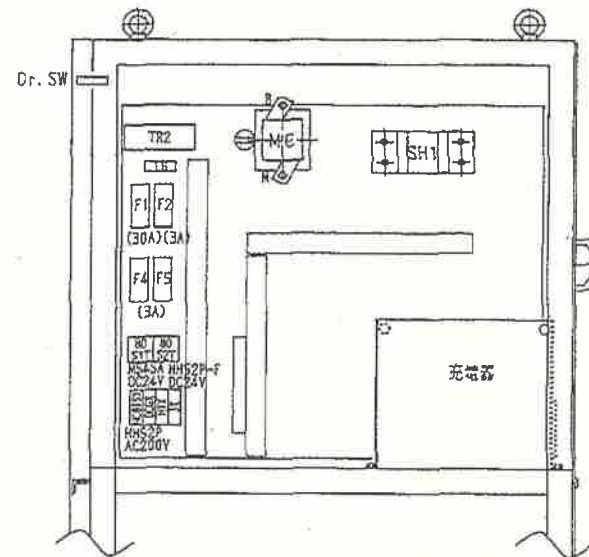


図番 6 清久中継ポンプ場自動始動発電機盤構造図 2

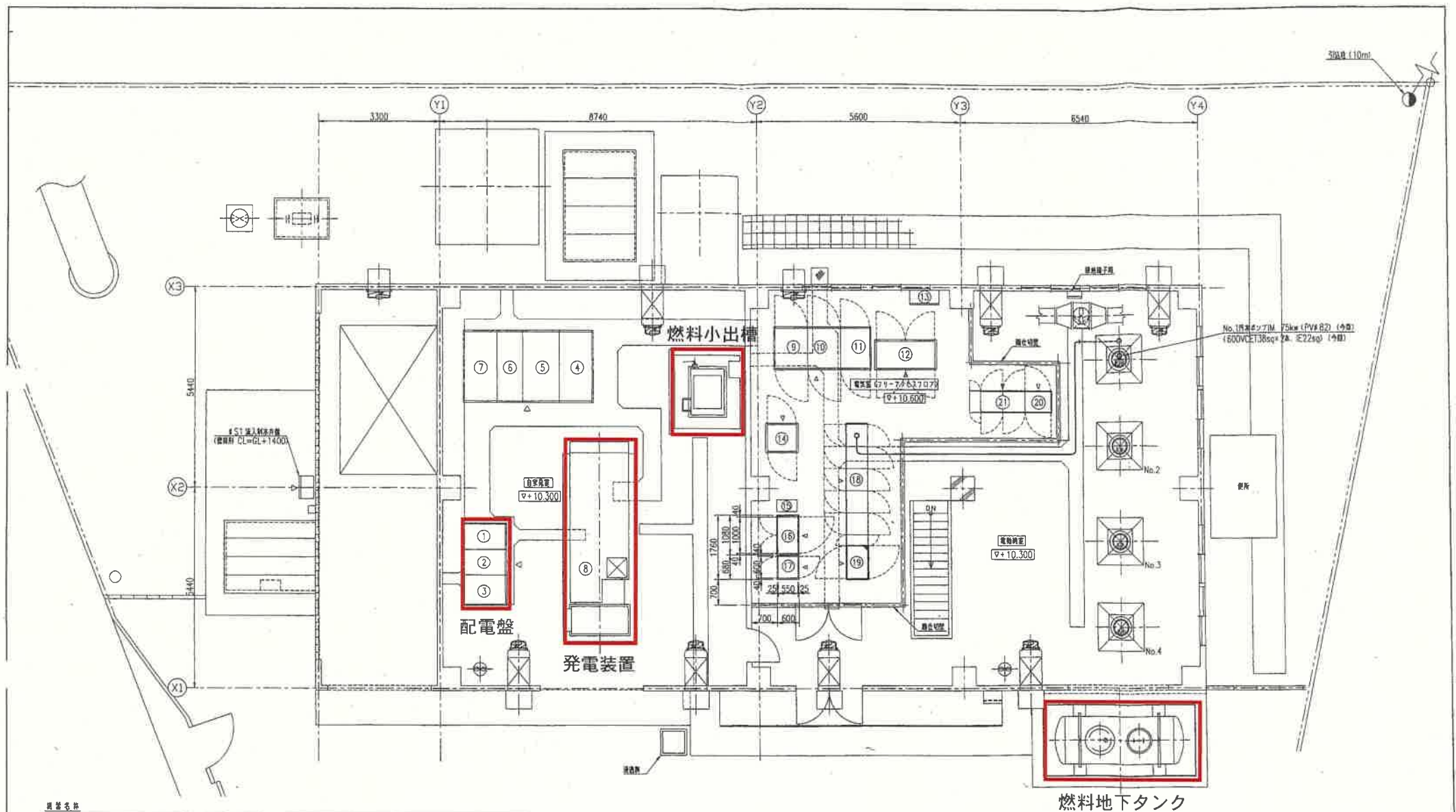


図番 7 清久中継ポンプ場直流電源装置構造図 1

B-B' 矢視図



図番 8 清久中継ポンプ場直流電源装置構造図 2



図番 9

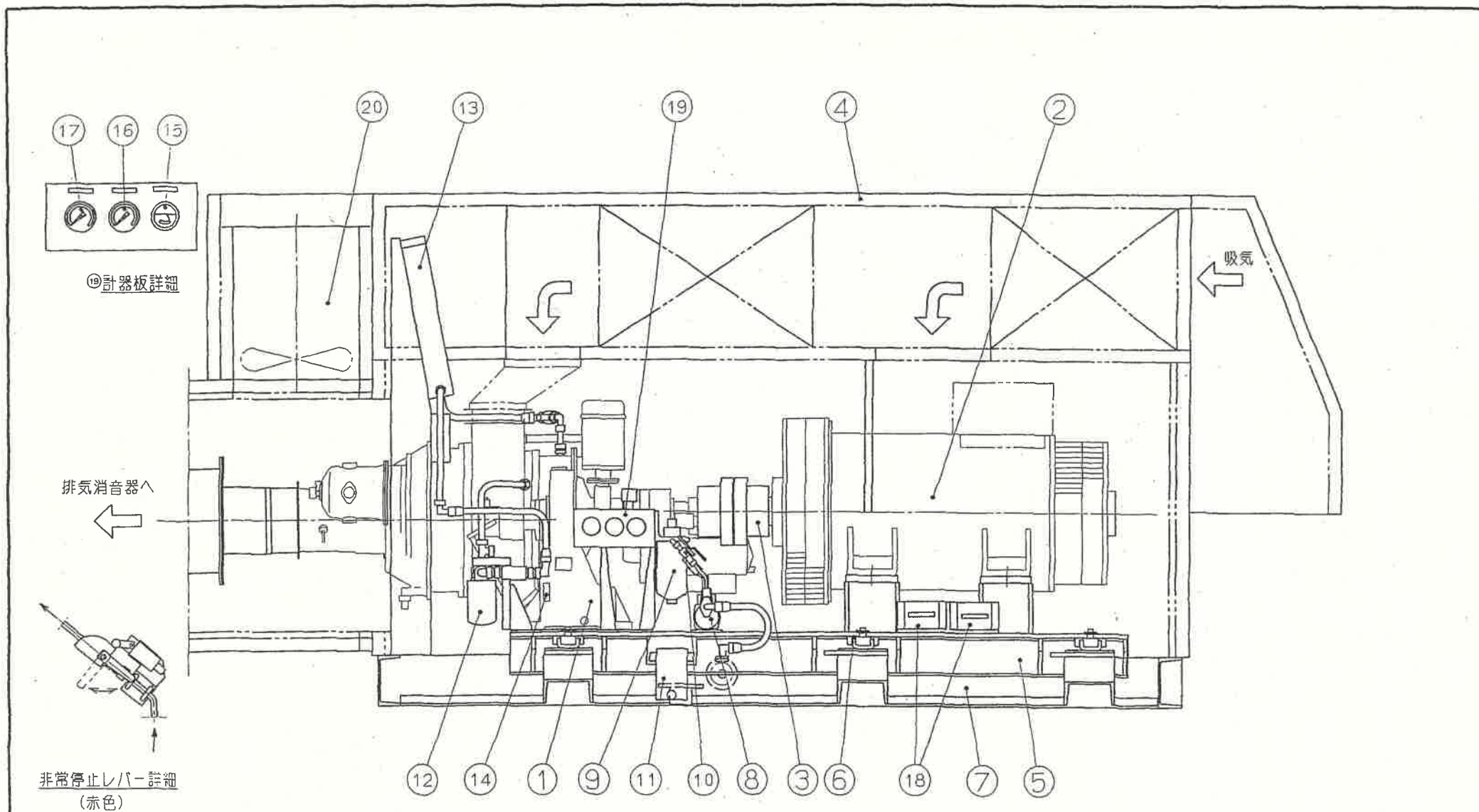
記号	番号	名称	備考
1	#G1	発電機	既設
2	#G2	発電機	・
3	#GB1	燃料貯蔵タンク	・
4	#L1	発電・自家消費・コンデンサ	・
5	#M3	動力T	・
6	#M2	受電機	・
7	#M1	圧縮機	・
8	---	ガスタービン発電機	・
9	#L4	照明機	・
10	#L3	200V動力機	・

記号	番号	名称	備考
11	#L2	400V動力機	既設
12	#K1	変電機	・
13	#PP-1	動力制御機	・
14	#B1	蓄電池	・
15	---	3kVA UPS	・
16	#H1F	インターフェイス機	今回更新
17	#H1TM	遠方監視制御機	既設
18	#C11~C15	汚水ポンプ制御コントロールセンタ	・
19	#R11	汚水ポンプ制御補助電源機	今回新設
20	#R1	圧砂機制御補助電源機	既設
21	#C1~C2	圧砂機制御コントロールセンタ	・

全体平面図 (S=1/50)

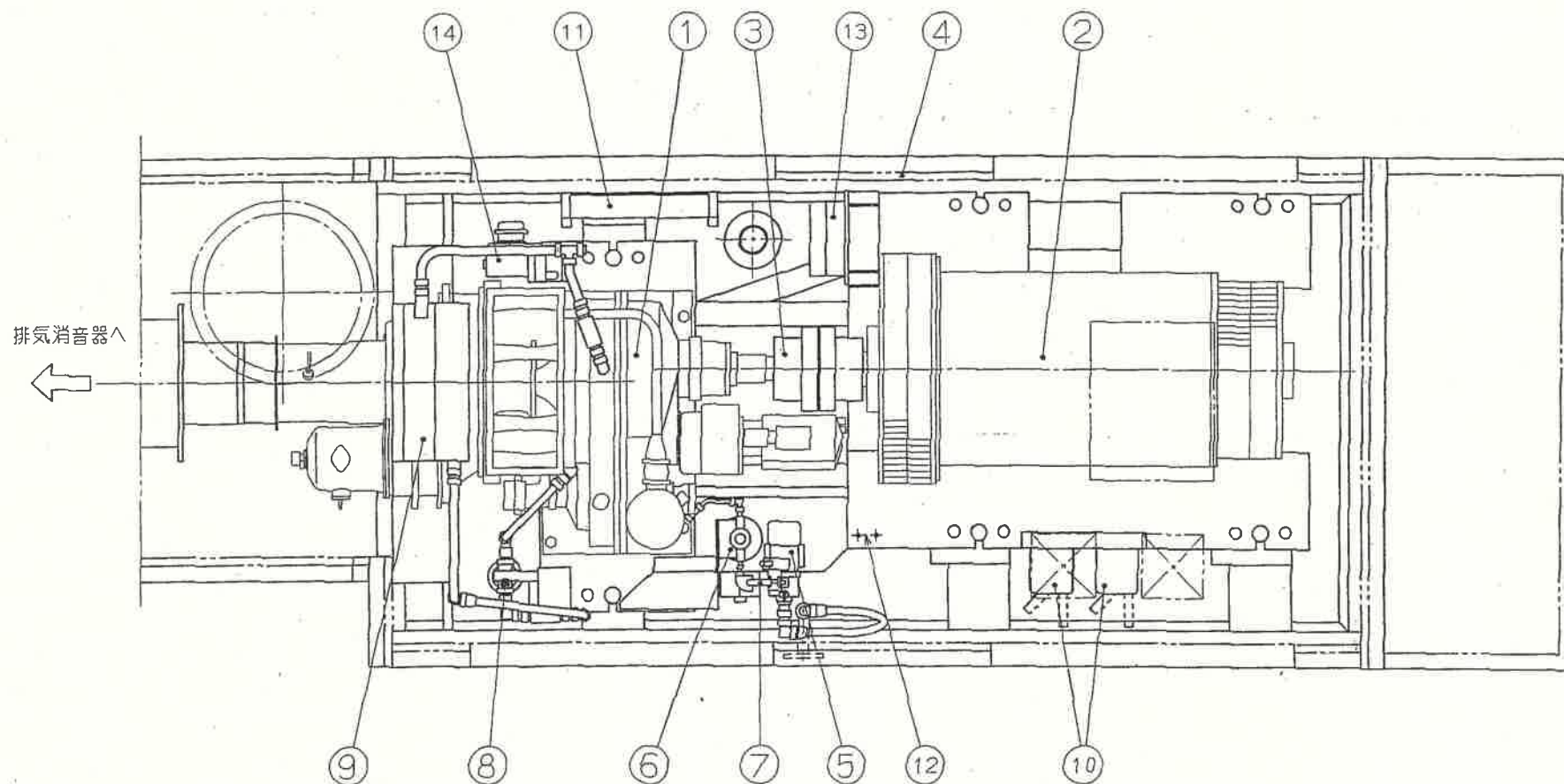
□: 点検対象設備

図番 9 東中継ポンプ場平面図



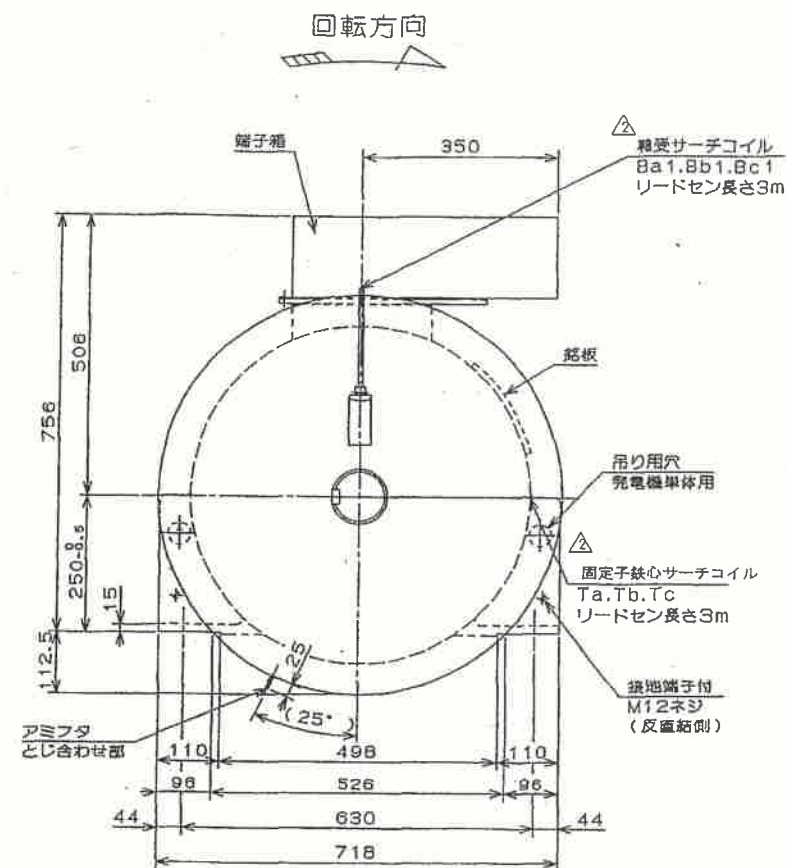
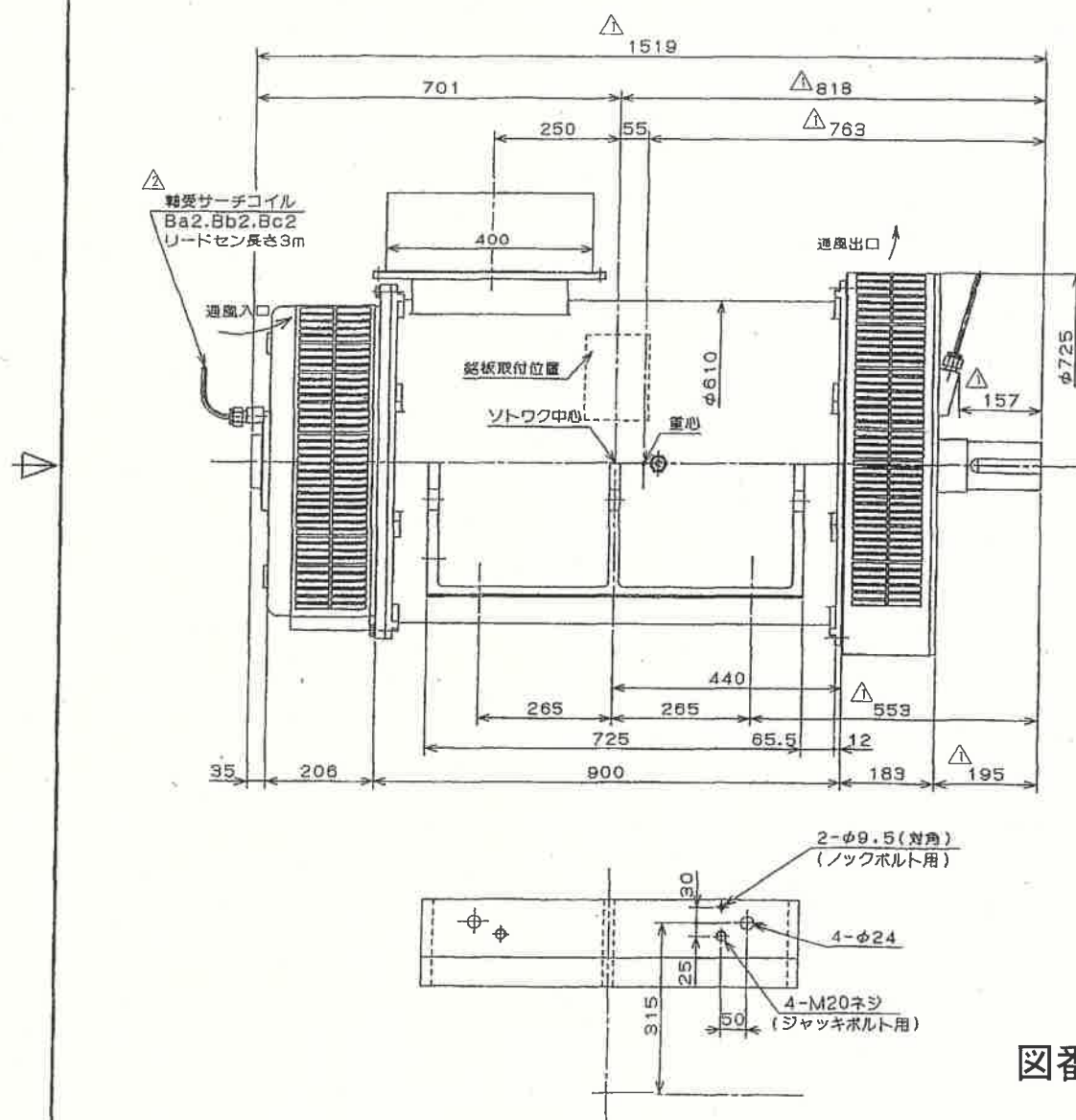
図番 1 0 東中継ポンプ場発電装置構造図 (正面)

5 コモンベッド	10 非常停止レバー	15 潤滑油温度計	20 パッケージファン
4 パッケージ	9 燃料フィルタ	14 潤滑油レベルゲージ	19 計器板
3 軸継手	8 燃料フィードポンプ	13 潤滑油クーラ	18 バッテリスイッチ
2 発電機	7 ベース	12 潤滑油フィルタ	17 圧縮機吐出圧力計
1 ガスタービン	6 防振ゴム	11 漏油タメ	16 潤滑油圧力計
部番 名称	部番 名称	部番 名称	部番 名称

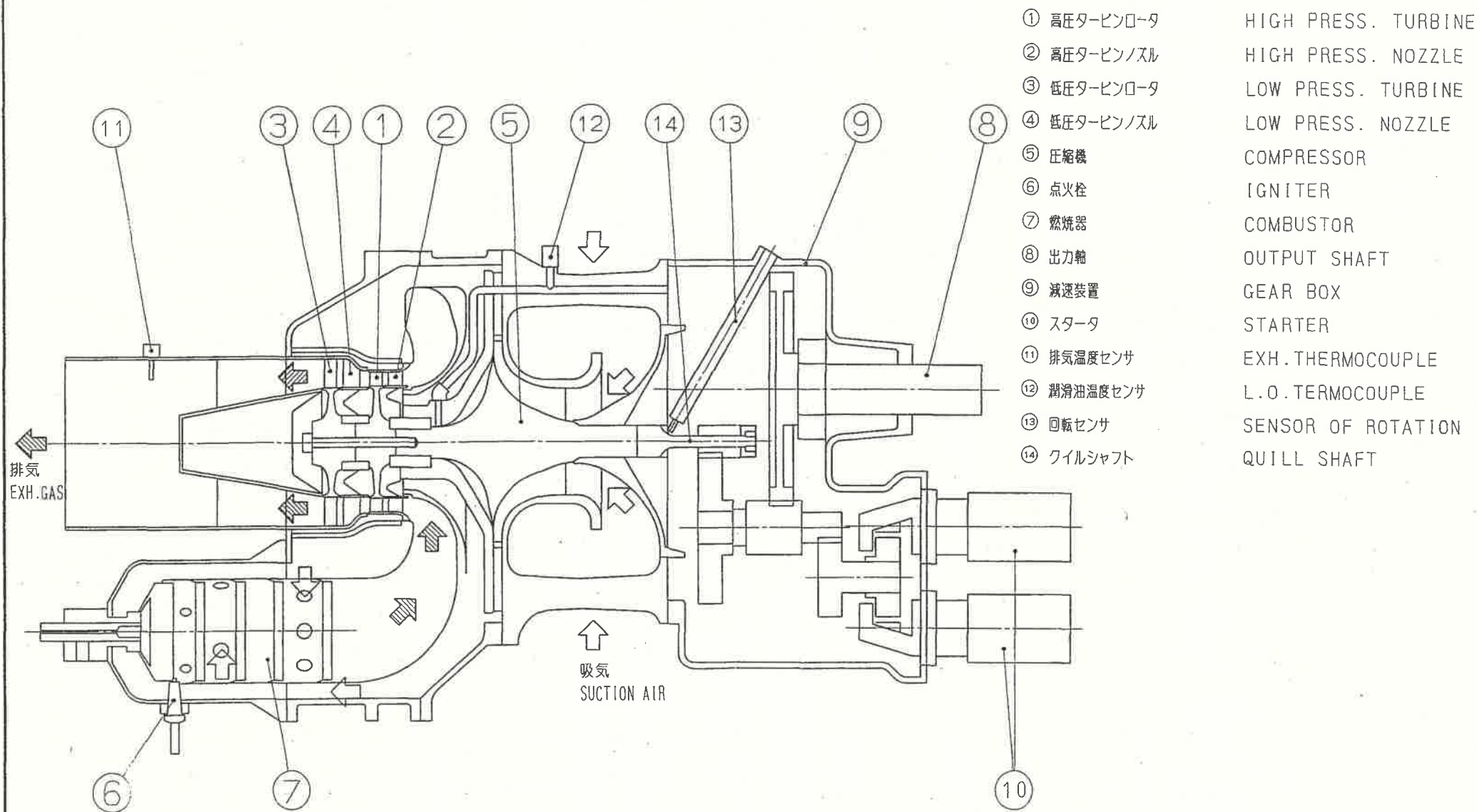


図番 1 1 東中継ポンプ場発電装置構造図 (平面)

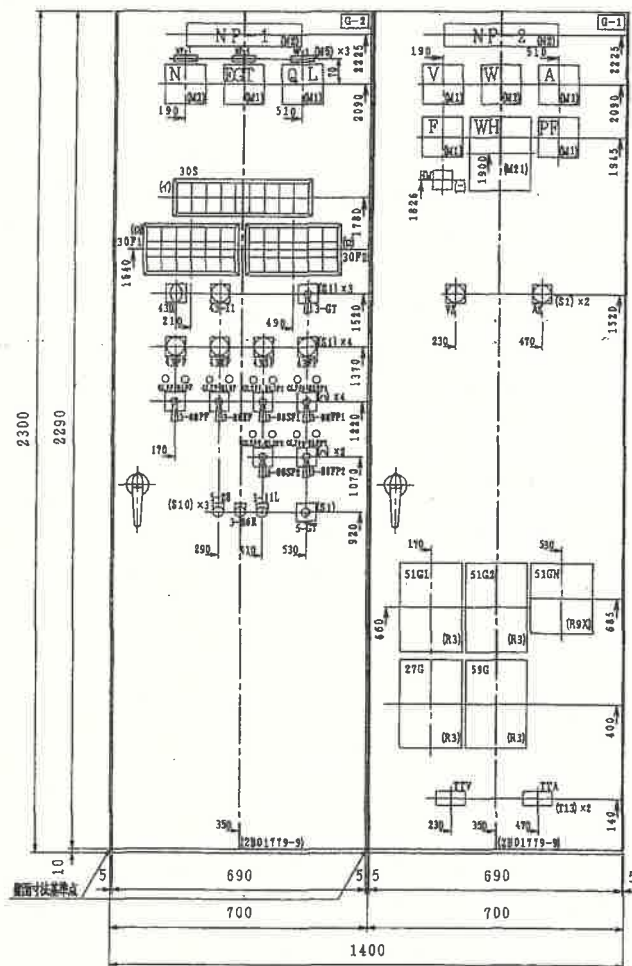
5	燃料フィードポンプ	10	バッテリースイッチ	15		20	
4	パッケージ	9	潤滑油クーラ	14	エアアシストポンプ	19	
3	軸継手	8	潤滑油フィルタ	13	同期スイッチ	18	
2	発電機	7	非常停止レバー	12	アース端子 (バッテリー⊕へ)	17	
1	ガスタービン	6	燃料フィルタ	11	端子箱	16	
部番	名称	部番	名称	部番	名称	部番	名称



図番 1 2 東中継ポンプ場同期発電機外形寸法図



図番 1 4 東中継ポンプ場 AT600S 形ガスタービン断面図



銘名称: 自動始動盤
 盤番: G-2
 製番: CR511-2

盤名称: 発電機盤
 盤番: G-1
 製番: CR511-1

[状態表示]

30S [HZ]乳白色 (W) 赤色 (R) [LED]

1	2	3	4	5	6	7	8	9
待機	始動中	運転	電圧	過電中	主電源入	センタ	自動	
電圧	電圧	電圧	電圧	電圧	電圧	電圧	電圧	電圧
18	17	16	15	14	13	12	11	10
適用	始動準備	停止	停止中	自動復帰	主電源切	ポンプ場	手動	
電圧	完了	電圧	電圧	電圧	電圧	電圧	電圧	電圧

[主・中故障表示]

30P1 [HZ]赤色 (R) [LED]

1	2	3	4	5	6
始動	運転	停止	TAC	非常	燃料
故障	故障	故障	故障	故障	故障
18	17	16	15	14	13
故障	故障	故障	故障	故障	故障
電圧	電圧	電圧	電圧	電圧	電圧

[駆動源表示]

30P2 [HZ]橙色 (O) [LED]

1	2	3	4	5	6
100%	始動	燃料	燃料	燃料	燃料
故障	故障	故障	故障	故障	故障
18	17	16	15	14	13
故障	故障	故障	故障	故障	故障
電圧	電圧	電圧	電圧	電圧	電圧

器具番号	開閉器銘板記入文字	使用機器	ハンドル	備考
VS	交流電圧計 切. 1-2, 2-3, 3-1, 切	BN-340A	赤平 [黒]	
AS	交流電流計 切. 1, 2, 3, 切	BN-42A	赤平 [黒]	
43G	操作切換	BR-11-0	オーバル [黒]	
43-11	自動始動装置	BN-58-0	赤平 [黒]	
3-GT	ガスタービン	BR-11-0	ピストル [黒]	
5-GT	非常停止	BSB-42A	引込 [赤]	
5-28	警報停止	ABN-122	押込 [黒]	
3-86R	表示復帰	ABN-122	押込 [黒]	
3-11L	ランプテスト	ABN-122	押込 [黒]	
43PP	パッケージファン	BN-58-1	赤平 [黒]	
43EP	排気ファン	BN-58-1	赤平 [黒]	
43SP	給気ファン	BN-58-1	赤平 [黒]	
43PP	燃料移送ポンプ	BN-58-1	赤平 [黒]	
3-88PP	パッケージファン	BR-19-0	ピストル [黒]	
3-88EP	排気ファン	BR-19-0	ピストル [黒]	
3-88SP1	NO. 1給気ファン	BR-19-0	ピストル [黒]	
3-88SP2	NO. 2給気ファン	BR-19-0	ピストル [黒]	
3-88PP1	NO. 1燃料移送ポンプ	BR-19-0	ピストル [黒]	
3-88PP2	NO. 2燃料移送ポンプ	BR-19-0	ピストル [黒]	

番 号	銘板記入文字
NP-1	自動始動盤
NP-2	発電機盤
MP-1	巨能速度計
MP-2	排気温度計
MP-3	地下タンク液位計
TTV	VT二次
TTA	CT二次

穿孔図番

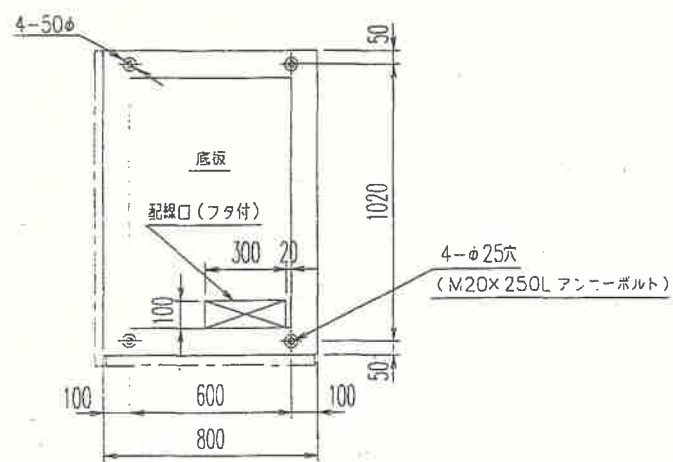
- (イ) 3G61572-(8)
- (ロ) 3A32707-(5)
- (ハ) 4G60026-(1)
- (ニ) 4G50939-(2)

図番 17 東中継ポンプ場自動始動盤・発電機盤正面図



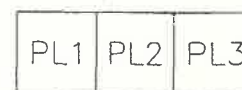
	板厚(mm)
前 扉	2.3t
側 面 板	2.3t
後 面 板	2.3t
天 井 板	2.3t

	質量 (Kg)
電源装置	470
蓄電池	290
合 計	760



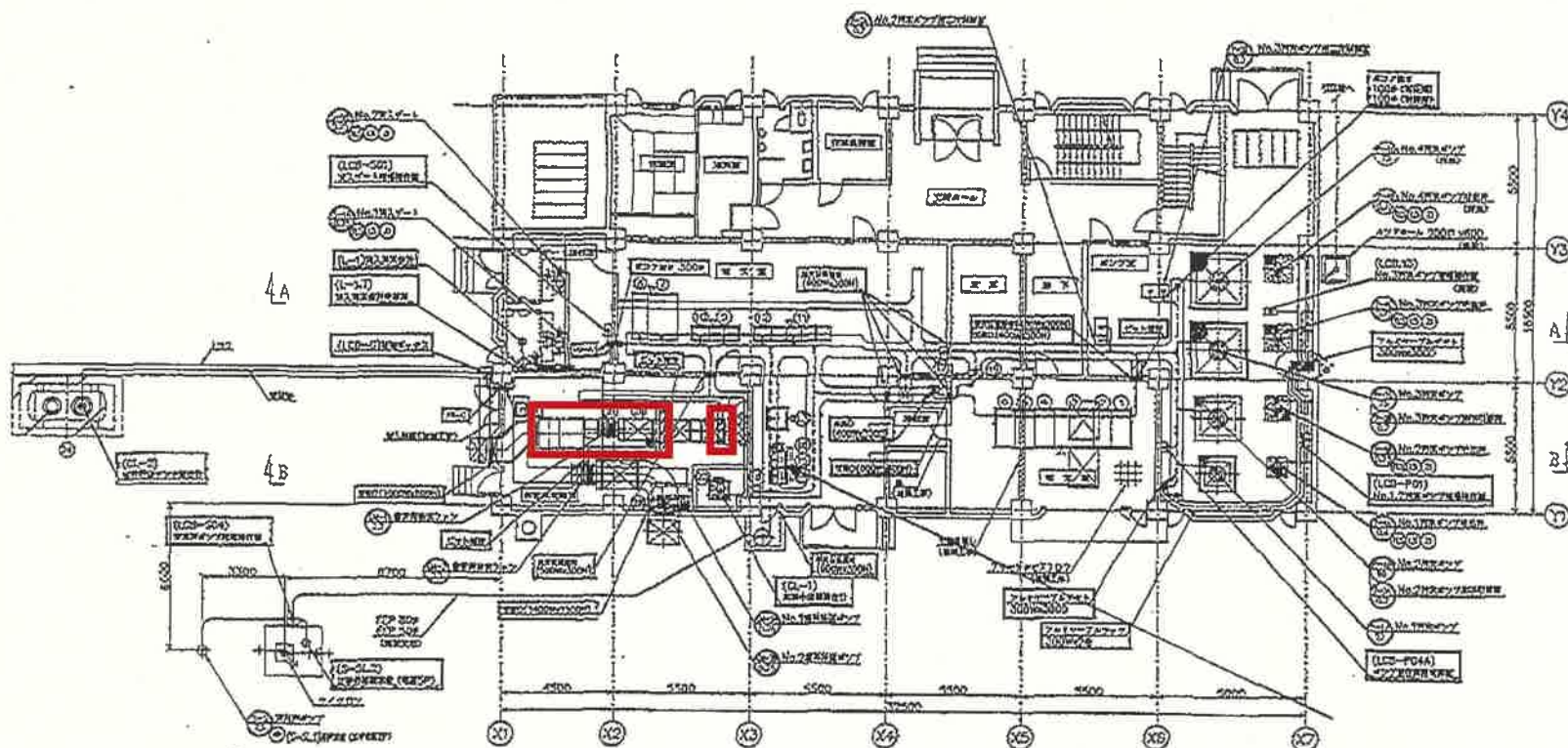
基礎図
(矢視A-A)

表示灯



浮動充電 溫度上昇 充電器故障

図番 18 東中継ポンプ場自家発始動用蓄電池設備外形図

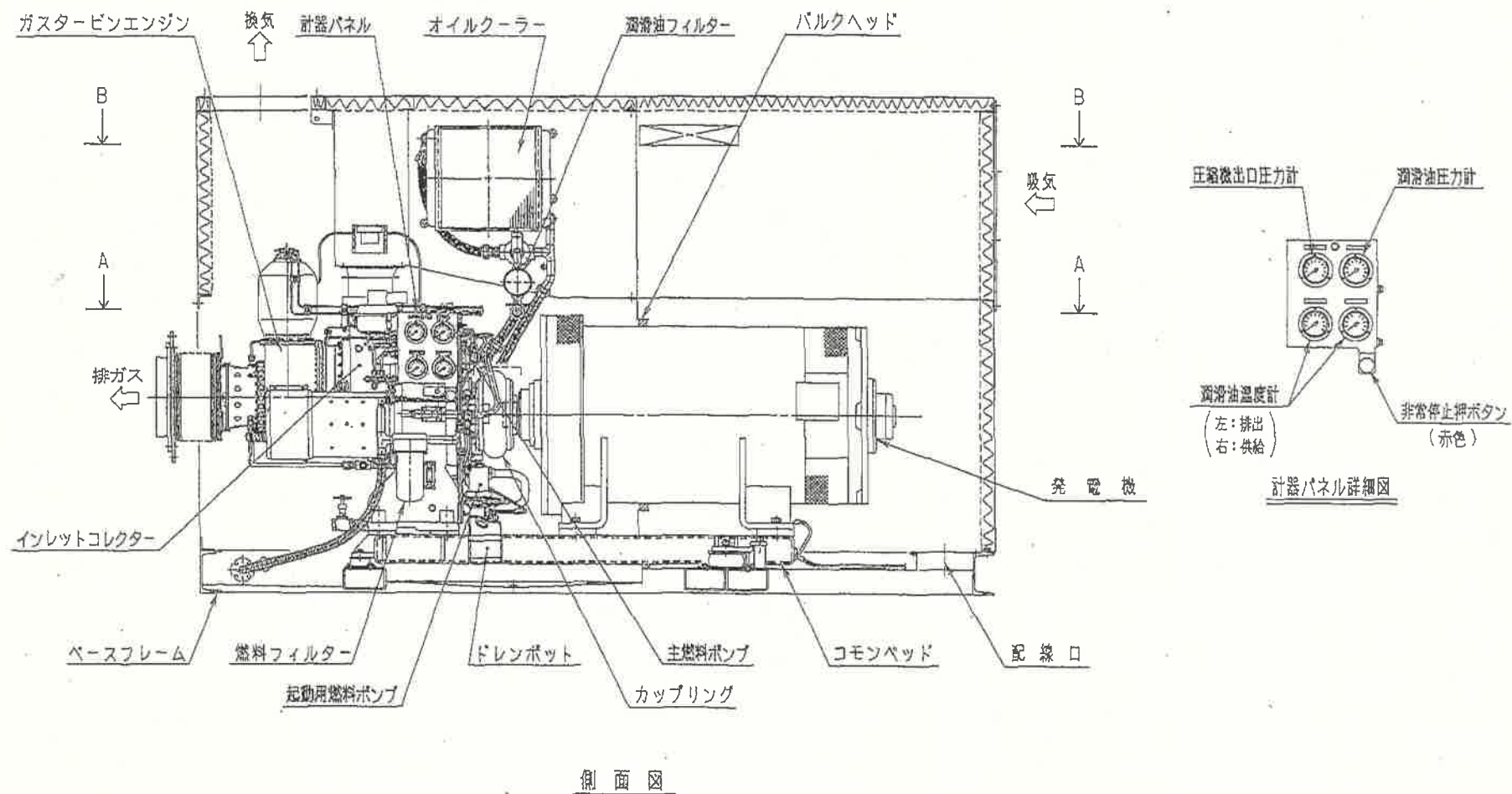


No	記号	記号	名称
①	H-1		圧入機
②	H-2		圧入機
③	H-3		圧入機
④	L-1		400V分岐箱
⑤	L-2		200V分岐箱
⑥	L-3		圧入機
⑦	⑦		圧入機
⑧	⑧		圧入機
⑨	CC-1		圧入機
⑩	CC-2		圧入機
⑪	CC-3		圧入機
⑫	CC-4		圧入機
⑬	CC-5		圧入機
⑭	CC-6		圧入機
⑮	CC-7		圧入機
⑯	CC-8		圧入機
⑰	CC-9		圧入機
⑱	CC-10		圧入機
⑲	CC-11		圧入機
⑳	CC-12		圧入機
㉑	CC-13		圧入機
㉒	CC-14		圧入機
㉓	CC-15		圧入機
㉔	CC-16		圧入機
㉕	CC-17		圧入機
㉖	CC-18		圧入機
㉗	CC-19		圧入機
㉘	CC-20		圧入機
㉙	CC-21		圧入機
㉚	CC-22		圧入機
㉛	CC-23		圧入機
㉜	CC-24		圧入機
㉝	CC-25		圧入機
㉞	CC-26		圧入機
㉟	CC-27		圧入機
㊱	CC-28		圧入機
㊲	CC-29		圧入機
㊳	CC-30		圧入機
㊴	CC-31		圧入機
㊵	CC-32		圧入機
㊶	CC-33		圧入機
㊷	CC-34		圧入機
㊸	CC-35		圧入機
㊹	CC-36		圧入機
㊺	CC-37		圧入機
㊻	CC-38		圧入機
㊼	CC-39		圧入機
㊽	CC-40		圧入機
㊾	CC-41		圧入機
㊿	CC-42		圧入機

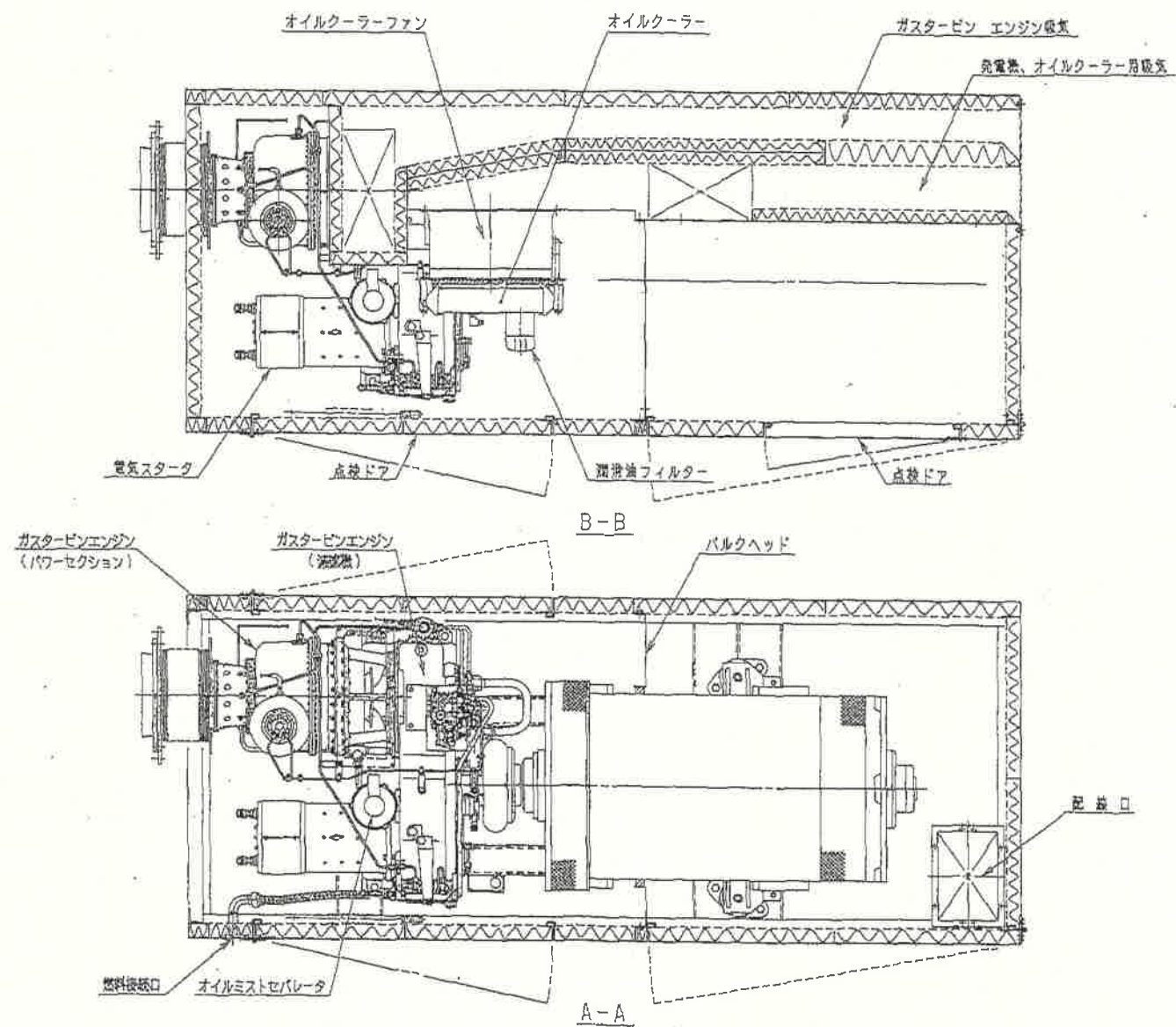
番号	電圧	電圧	電圧
①	200V	200V	200V
②	200V	200V	200V
③	200V	200V	200V
④	200V	200V	200V
⑤	200V	200V	200V
⑥	200V	200V	200V
⑦	200V	200V	200V
⑧	200V	200V	200V
⑨	200V	200V	200V
⑩	200V	200V	200V
⑪	200V	200V	200V
⑫	200V	200V	200V
⑬	200V	200V	200V
⑭	200V	200V	200V
⑮	200V	200V	200V
⑯	200V	200V	200V
⑰	200V	200V	200V
⑱	200V	200V	200V
⑲	200V	200V	200V
⑳	200V	200V	200V
㉑	200V	200V	200V
㉒	200V	200V	200V
㉓	200V	200V	200V
㉔	200V	200V	200V
㉕	200V	200V	200V
㉖	200V	200V	200V
㉗	200V	200V	200V
㉘	200V	200V	200V
㉙	200V	200V	200V
㉚	200V	200V	200V
㉛	200V	200V	200V
㉜	200V	200V	200V
㉝	200V	200V	200V
㉞	200V	200V	200V
㉟	200V	200V	200V
㊱	200V	200V	200V
㊲	200V	200V	200V
㊳	200V	200V	200V
㊴	200V	200V	200V
㊵	200V	200V	200V
㊶	200V	200V	200V
㊷	200V	200V	200V
㊸	200V	200V	200V
㊹	200V	200V	200V
㊺	200V	200V	200V
㊻	200V	200V	200V
㊼	200V	200V	200V
㊽	200V	200V	200V
㊾	200V	200V	200V
㊿	200V	200V	200V

点検対象

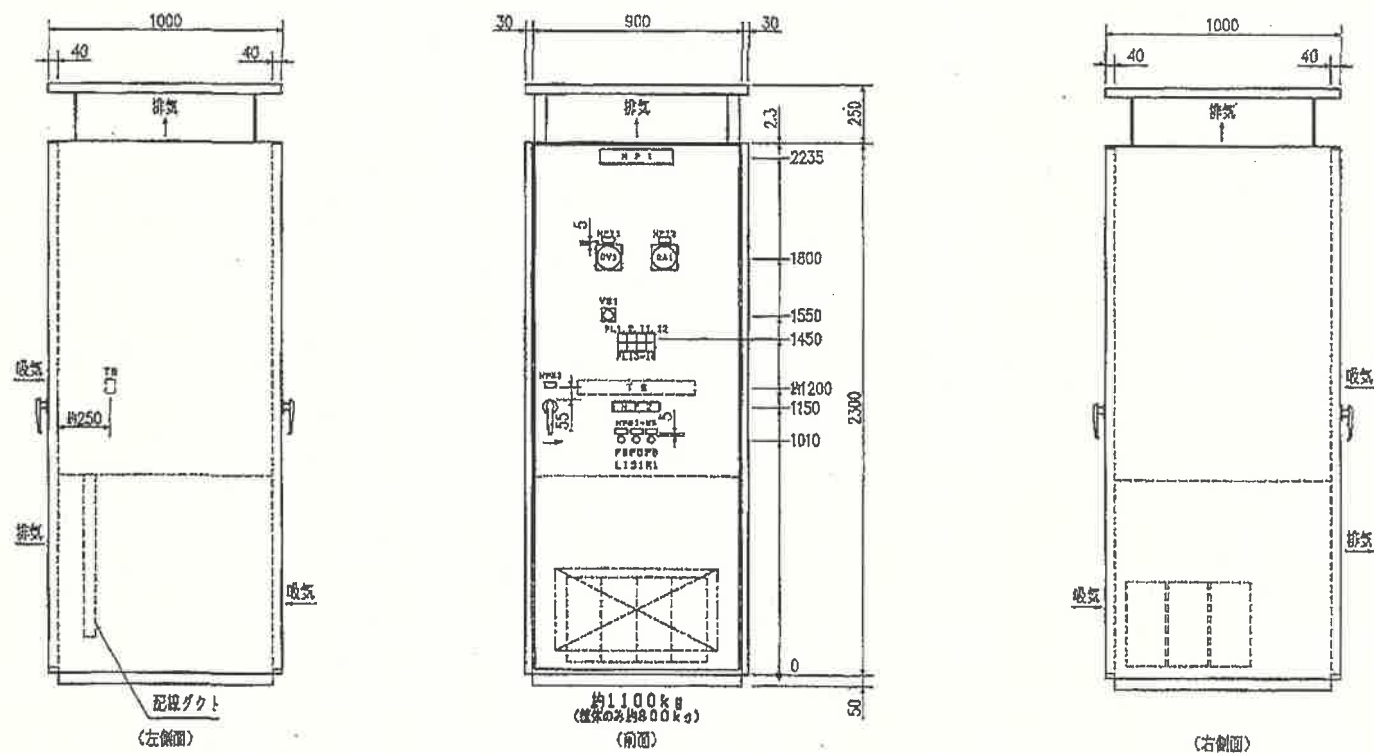
図番 2 0 鷺宮中継ポンプ場平面図



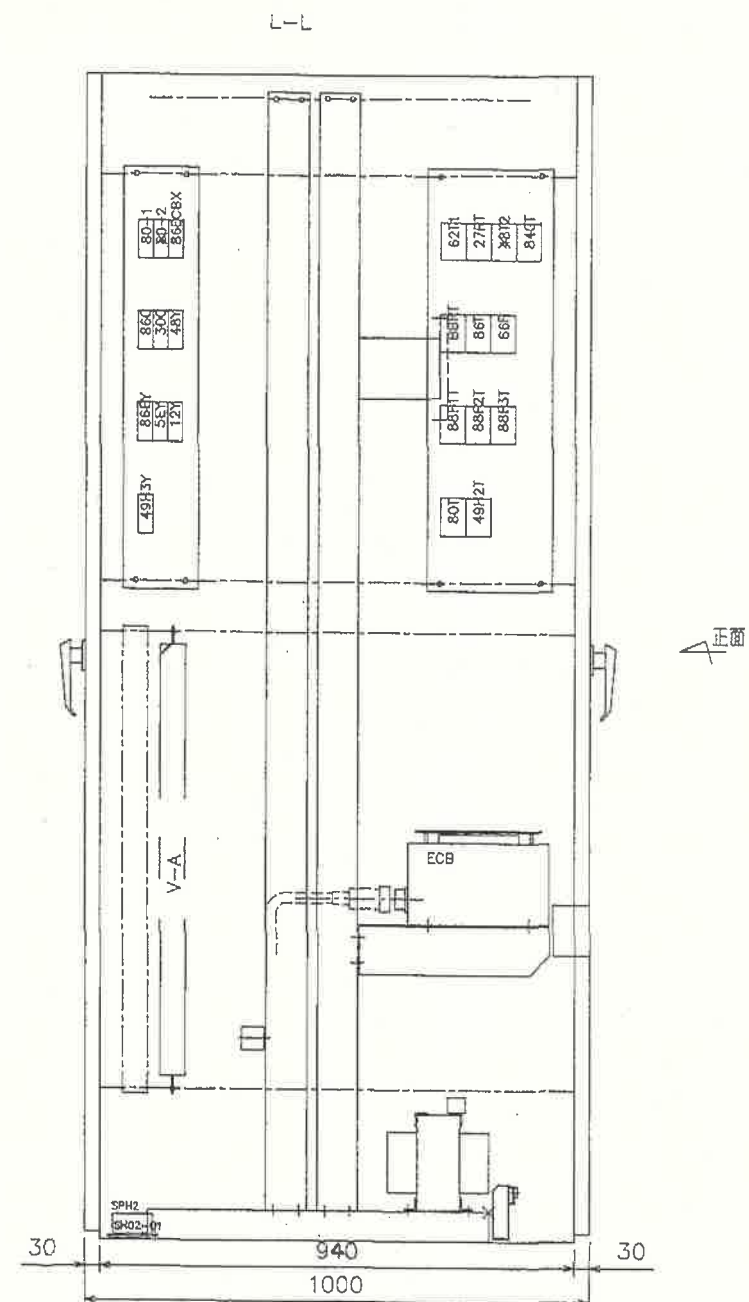
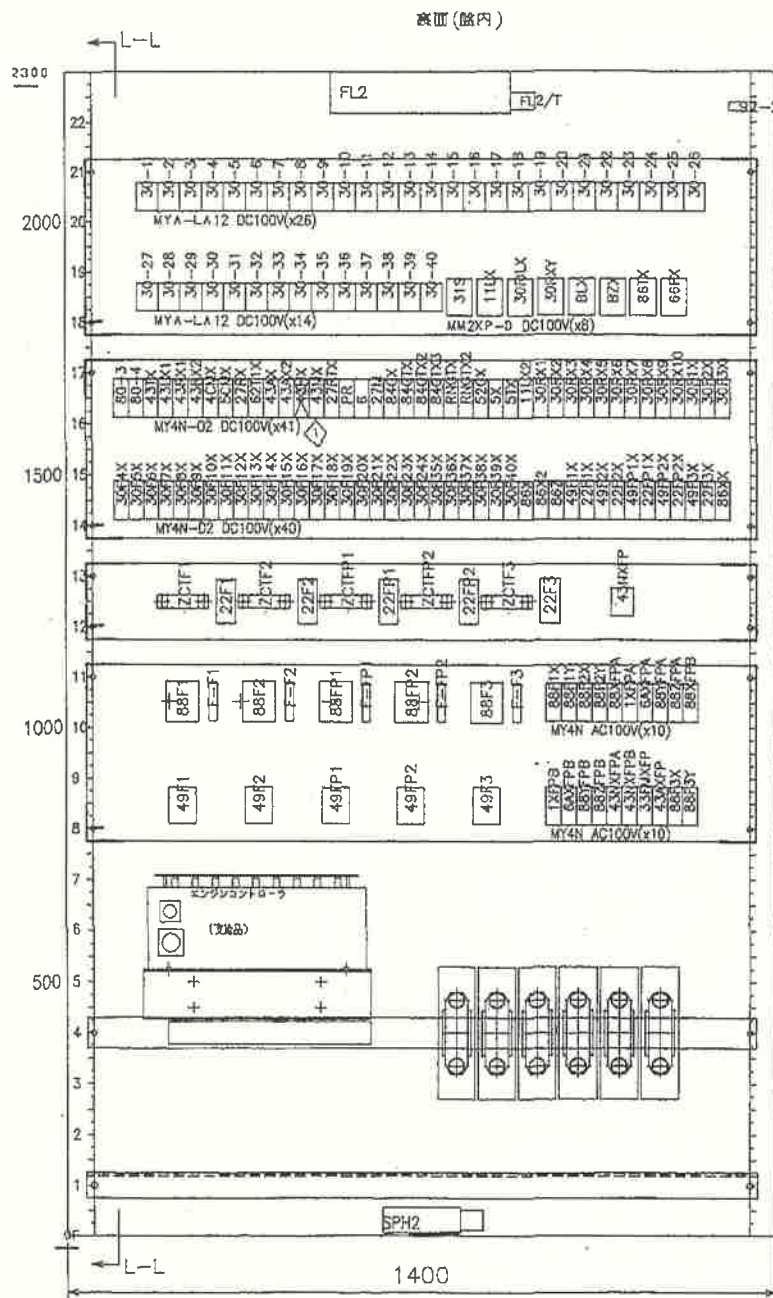
図番 2 2 鷺宮中継ポンプ場ガスタービン発電装置構造図 1



図番 2 3 清久中継ポンプ場ガスタービン発電装置構造図 2



図番 2 4 鷺宮中継ポンプ場直流電源装置構造図



図番 2 6 鷺宮中継ポンプ場自動始動発電機盤構造図 2